

厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患政策研究事業

難治性血管炎に関する調査研究

平成 29 年度～令和元年度 総合研究報告書

研究代表者

針 谷 正 祥

令和 2 年 (2020 年) 3 月

目 次

I. 総合研究報告	
難治性血管炎に関する調査研究 -----	1
針谷 正祥 (東京女子医科大学医学部膠原病リウマチ内科学講座)	
II. 研究成果の刊行に関する一覧表-----	8

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患政策研究事業
難治性血管炎に関する調査研究班
総合研究報告書

難治性血管炎に関する調査研究

研究代表者 針谷正祥 東京女子医科大学医学部膠原病リウマチ内科学講座 教授

研究要旨 【目的】 難治性血管炎疾患の診断基準、重症度分類、診療ガイドライン (CPG) 等の作成・評価・改訂に資する研究を実施し、難治性血管炎の医療水準の更なる向上と患者支援体制充実を図る【方法】 班内に5つの分科会を設置し、各分科会長を中心に2017年度から2019年度の3年度の研究課題を実施した。【結果】 「血管炎診療ガイドライン2017」を2018年3月に日本循環器学会で公表し、日本循環器学会、日本リウマチ学会を含む13団体の承認を得た(日本循環器学会との共同研究)。当研究班が担当する指定難病の診断基準、重症度分類が関連学会で承認された。大型血管炎臨床分科会では、高安動脈炎の厚労省診断基準を修正し、指定難病検討会で承認された。バージャー病の診断基準修正案を作成し、関連学会での承認を依頼した。大型血管炎の前向きレジストリ研究では、高動脈炎70例、巨細胞性動脈炎121例を集積・解析し(AMED血管炎班との共同研究)、全国疫学調査の一次調査結果を集計した(難病疫学班との共同研究)。バージャー病、高安動脈炎の臨床調査個人票データを解析した。高安動脈炎女性患者と妊娠・出産の実態調査の倫理審査が完了し、13施設から14例が登録された。「小児発症高安動脈炎の子どもと親のためのガイド」の執筆を完了した。中・小型血管炎臨床分科会では、川崎病性冠動脈瘤の診断基準を作成し、関連学会に承認を得た。川崎病診断の手引き(診断基準)改訂第6版を公表した(川崎病学会との共同研究)。ANCA関連血管炎診療ガイドライン2017の評価がMindsで実施され、Mindsのwebsiteに同ガイドラインが掲載された。結節性多発動脈炎と悪性関節リウマチの臨床調査個人票データ解析、AAV以外の中・小型血管炎に関するMinds形式の治療ガイドの策定、ANCA関連血管炎患者の寛解導入後の寛解維持治療に関する医療経済学的検討、AAV患者のQOL検討を行った。小児本疾患におけるアフェレシス療法のエビデンスに関する文献的レビューを実施した。また、2019年6月に川崎病診断の手引き(改訂6版)を公開した(川崎病学会との共同研究)。横断研究分科会では研究班webpageでの血管炎に関する情報提供、中難治性血管炎市民公開講座(合計4回、東京都千代田区、福岡県福岡市、大阪市梅田、宮城県仙台市)開催、関連学会の総会・学術集会における合同シンポジウム提案・開催を多数実施した。臨床病理分科会では、血管炎病理診断コンサルテーションの一般受付を継続し、累計34例(2019年度は14件)についてコンサルテーション業務を実施した。国際研究分科会では、DCVAS、PEXIVAS、肺限局型血管炎の検討(びまん性肺疾患に関する調査研究班と

の共同研究)、結節性多発動脈炎の疾患フェノタイプに関する国際共同研究への参加、PLV working group 国際会議の開催、肺限局型血管炎に関するアンケート調査(びまん性肺疾患に関する調査研究班との共同研究)、血管炎妊娠レジストリの国際共同研究への参加準備を実施した。【考察】これらの研究成果によって、難治性血管炎の医療水準の均てん化と更なる向上がもたらされることが期待される。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

要伸也 杏林大学医学部腎臓・リウマチ膠原病内科学教室 教授

渥美 達也 北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学教室 教授

天野 宏一 埼玉医科大学総合医療センターリウマチ・膠原病内科 教授

勝又 康弘 東京女子医科大学医学部膠原病リウマチ内科学講座 講師

駒形 嘉紀 杏林大学医学部第一内科腎臓・リウマチ膠原病内科 教授

佐田 憲映 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腎・免疫・内分泌代謝内科学講座 准教授

高橋 啓 東邦大学医療センター大橋病院病理診断科 教授

田中 榮一 東京女子医科大学医学部膠原病リウマチ内科学講座 准教授

田村 直人 順天堂大学大学院医学研究科 教授

土橋 浩章 香川大学医学部血液免疫呼吸器内科 准教授

長坂 憲治 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 非常勤講師

中山 健夫 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授

南木 敏宏 東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野 教授

原渕 保明 旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 教授

坂東 政司 自治医科大学医学部内科学講座呼吸器内科学部門 教授

本間 栄 東邦大学医学部内科学講座呼吸器内科学分野 教授

和田 隆志 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科腎臓内科学 教授

石津 明洋 北海道大学大学院保健科学研究院病態解析学分野 教授

川上 民裕 東北医科薬科大学医学部皮膚科 教授

菅野 祐幸 信州大学学術研究院医学系医学部病理組織学 教授

宮崎 龍彦 岐阜大学医学部附属病院病理診断科 臨床教授

藤元 昭一 宮崎大学医学部医学科血液・血管先端医療学講座 教授

猪原登志子 京都府立医科大学 研究開発・質管理向上統合センター 講師

川上 民裕 東北医科薬科大学 皮膚科学教室 主任教授

河野 肇 帝京大学医学部内科学講座 教授

田村 直人 順天堂大学医学部膠原病内科 教授

坂東 政司 自治医科大学内科学講座呼吸器内科学部門 教授

古田 俊介 千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科 特任講師

中岡 良和 国立循環器病研究センター研究所血管生理学部 部長

赤澤 宏 東京大学医学部附属病院 講師

石井 智徳 東北大学病院臨床研究推進センター臨床研究実施部門 特任教授

磯部 光章 公益財団法人日本心臓血管研究振興会附属榊原記念病院 院長、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 非常勤講師

内田 治仁 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授

杉原 毅彦 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科寄附講座 寄附講座准教授

種本 和雄 川崎医科大学心臓血管外科学教授

中村 好一 自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授

新納 宏昭 九州大学大学院医学研究院医学教育学 教授

長谷川 均 愛媛大学大学院医学系研究科 特任教授

前嶋 康浩 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 循環制御内科学 准教授

吉藤 元 京都大学大学院医学研究科 内科学講座臨床免疫学 院内講師

A. 研究目的

難治性血管炎疾患の診断基準、重症度分類、診療ガイドライン (CPG) 等の作成・評価・改訂に資する研究を実施し、難治性血管炎の医療水準の更なる向上と患者支援体制充実を図る。

B. 研究方法

研究代表者は全体計画策定、進捗管理、各分科会間調整を行い、研究代表者と各分科会長が連携して研究を進めた。レジストリデータ (RD) 収集には原則的に臨床系全分担者・協力者が参加した。

1) 大型血管炎臨床分科会

血管炎診療ガイドライン 2017、診断基準、重症度分類の関連学会での承認を依頼した。

高安動脈炎の診断基準修正案を検討した。バージャー病の臨床調査個人票データベースを解析した。2017 年度から実施中の高安動脈炎、巨細胞性動脈炎の後ろ向き・前向き登録研究のデータ収集を AMED 血管炎班と合同で解析した。難病疫学班と共同で全国疫学調査を実施した。

2) 中・小型血管炎臨床分科会

血管炎診療ガイドライン 2017、診断基準、

重症度分類の関連学会での承認を依頼した。

2019 年度に編成したワーキンググループが中心となり、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、結節性多発動脈炎、悪性関節リウマチ、抗リン脂質抗体症候群の Minds 準拠の診療の手引きを作成した。診療ガイドライン (CPG) および重症度分類評価のための患者レジストリデータを AMED「難治性血管炎診療の CQ 解決のための多層的研究班」(AMED 血管炎班) と合同で収集した。結節性多発動脈炎と悪性関節リウマチの臨床調査個人票データ解析、医療経済学的検討、AAV 患者の QOL 検討を行った。

3) 横断協力分科会

市民公開講座、関連学会との合同シンポジウムを開催。本研究班ホームページの充実・活用を推進した。

4) 臨床病理分科会

病理診断コンサルテーションシステムの一般公開、運用を継続した。血管炎病理学的所見における未説明問題 (巨細胞性動脈炎の大型血管病変、AAV の上気道生検組織の病理学的特徴、結節性多発動脈炎の皮膚病変と皮膚動脈炎の病理学的特徴の相違) の検討を実施した。

5) 国際協力分科会

欧米の血管炎研究グループ (EUVAS、VCRC) と協力し、国際共同研究を進めた。びまん性肺疾患に関する調査研究班と合同で、肺限局型血管炎に関する研究を実施し、国際会議を開催した。

6) 小児科領域の血管炎に関する検討

大型血管炎臨床分科会、中・小型血管炎臨床分科会の中で、小児高安動脈炎、ANCA 関連血管炎、川崎病の検討を継続した。

(倫理 面への配慮)

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針を遵守して実施した。

C. 研究結果

以下に分科会別に研究結果の概要を示す。

1) 大型血管炎臨床分科会

高安動脈炎、巨細胞性動脈炎、バージャー病については、「血管炎診療ガイドライン 2107」を 2018 年 3 月に日本循環器学会で公表し、日本循環器学会、日本リウマチ学会を含む 13 団体の承認を得た。高安動脈炎の診断基準修正案が指定難病検討委員会で承認された。バージャー病の診断基準修正案を作成し、関連学会での承認を依頼した。大型血管炎臨床分科会：バージャー病臨床調査個人票 (2013-14 年度新規患者) を解析し、その結果を *Circulation Journal* に投稿し、改訂中である。指定難病 3 疾患の診断基準および重症度分類が関連学会で承認された。

後ろ向きレジストリ研究では、高安動脈炎 129 例、巨細胞性動脈炎 145 例を登録し、巨細胞性動脈炎の解析結果を *Arthritis Research & Therapy*

2020;22(1):72 に発表した。前向きレジストリ研究では、高動脈炎 70 例、巨細胞性動脈炎 121 例を集積し、臨床症状、罹患血管部位、アウトカムを解析し、2019 年に米国リウマチ学会で発表した。

難治性疾患の継続的な疫学データの収集・解析に関する研究班 (難病疫学班) と連携し、高安動脈炎、巨細胞性動脈炎の全国疫学調査の一次調査を集計し、二次調査を実施した。高安動脈炎の患者数は、約 5300 名 (95%信頼区間: 4810-5800 名) で、診断基準に合致した患者数は 4900 名 (95%信頼区間: 4400-5400 名) と推計された。また巨細胞性動脈炎の患者数は 3200 名 (95%信頼区間: 2800-3600 名) で診断基準に合致した患者数は 2600 名 (95%信頼区間: 2300-3000 名) と推計された。高安動脈炎女性患者と妊娠・出産の実態調査の倫理審査が完了し、13 施設から 14 例が登録された。「小児発症高安動脈炎の子どもと親のためのガイド」の執筆を完了し、2020 年に出版予定である。

2) 中・小型血管炎臨床分科会

ANCA 関連血管炎診療ガイドライン 2017 の承認が関連する各学会から得られた。同ガイドラインの評価を Minds が実施し、Minds の website に掲載された。指定難病 6 疾患の診断基準および重症度分類が関連学会で承認された。

顕微鏡的多発血管炎 (MPA)、多発血管炎性肉芽腫症 (GCA) については、ANCA 関連血管炎診療ガイドライン 2017 のシステマティックレビュー (SR) 実施後に発表された顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症の文献検索を行い、改訂の準備を進めた。好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、結節性多

発動脈炎、悪性関節リウマチ、抗リン脂質抗体症候群のMinds 準拠の診療の手引きを作成し、推奨および解説を執筆した。PAN およびMRA に関しては、臨床調査個人票を解析し、人口統計学的特徴、臨床的特徴、治療内容、重症度分類などについて解析した。

小児本疾患におけるアフェレシス療法のエビデンスに関する文献的レビューを行い小児 ANCA 関連血管炎の特徴を検索した。川崎病学会と共同で川崎病診断の手引き（診断基準）改訂第6版を公表した。川崎病性冠動脈瘤の診断基準を作成し、関連学会に承認を得た。

ANCA 関連血管炎患者の寛解導入後の寛解維持治療に関する医療経済学的検討を保険データベースを用いて行い、同疾患患者の医療費の実態を明らかにした。

AAV 患者のQOL 検討では、ANCA 関連血管炎患者92名が参加し、ANCA 関連血管炎患者の労働生産性は、ANCA 関連血管炎患者における疾患活動性、臓器障害、健康関連QoL と関連することを明らかにした。

3) 横断研究協力分科会

研究班 webpage での血管炎に関する情報を適宜拡充し、2017年4月から継続して提供した。市民公開講座を毎年開催し、そのビデオを研究班 webpage で公開した。関連学会、団体との合同シンポジウム等を企画・協賛・協力した。

市民公開講座の実績

- ① 2018年1月14日 大阪市梅田
- ② 2018年9月2日 東京都千代田区
- ③ 2019年2月16日 福岡県福岡市
- ④ 2020年2月9日 宮城県仙台市

合同シンポジウム等の実績を含む)。

- ① 第82回日本循環器学会学術集会
会長特別企画「新しい時代を迎える大型血管炎の診断・治療の最前線」
- ② 第38回日本川崎病学会市民公開講座
主催：川崎病の子供をもつ親の会
後援：難治性血管炎に関する調査研究班、他
協力：日本川崎病学会
- ③ 第22回日本血管病理研究会（2017年11月11日（土）開催）
セッション：高安動脈炎と巨細胞性動脈炎、大型血管炎をもう一度考える
- ④ 小児難治性血管炎合同シンポジウム
共催：難治性血管炎に関する調査研究班、日本小児腎臓病学会、日本小児リウマチ学会、日本川崎病学会、2018年11月
- ⑤ 第62回日本リウマチ学会総会・学術集会（会長：横浜市立大学 齊藤知行）
2018年4月28日 特別企画シンポジウム4 「血管炎診療の最前線」
- ⑥ 第117回日本皮膚科学会総会
2018年6月3日 シンポジウム4 「内科医・小児科医・病理医を招いた血管炎シンポジウム」
- ⑦ 第57回日本鼻科学会（会長 旭川医大 原渕保明）
2018年9月27日 日本鼻科学会・難治性血管炎に関する研究班合同シンポジウム
「GPA、EGPAの臨床と病態」
- ⑧ 第38回日本サルコイドーシス/肉芽種性疾患学会総会

2018年11月2日 ANCA関連血管炎診療の進歩病変を中心に

- ⑨ 第38回日本川崎病学会学術集会
2018年11月16日 小児難治性血管炎合同シンポジウム

- ⑩ 第38回日本川崎病学会市民公開講座の後援（2018年11月17日）

- ⑪ 第39回日本川崎病学会市民公開講座の後援（2019年11月）

主催：川崎病の子供をもつ親の会

後援：難治性血管炎に関する調査研究班、他

協力：日本川崎病学会

- ⑫ 第63回日本リウマチ学会総会・学術集会（会長：東京女子医科大学 山中寿）
2019年4月15-19日 シンポジウム
「リウマチ学領域の難病研究の最新情報」、京都市

- ⑬ 第118回日本皮膚科学会総会（会長名古屋大学皮膚科 秋山真志）

2019年6月6-9日 教育講演22「内科医・小児科医・病理医を招いた血管炎シンポジウム(2)」、名古屋市

- ⑭ 第62回日本腎臓学会学術総会（会長藤田保健衛生大学 湯澤由起夫）

2019年6月21-23日 シンポジウム8
「血管炎に関する最新の話題」、名古屋市

4) 臨床病理分科会

血管炎病理診断コンサルテーションの一般受付を2017年4月から開始し、合計34件（2019年度は14件）についてコンサルテーション業務を実施した。ウェブ版血管炎病理アトラスの画像使用について6件許諾した。

GCAの大型血管病変の病理学的特徴では、側頭動脈をはじめとする頭蓋内外の頸動脈分枝に典型的なGCA病変を有することが病理組織学的に確認され、GCAの診断に異議の少ない高齢の症例の大動脈病変を解析した。これらの組織像は、典型的な高安動脈炎の組織像とは異なっていた。

AAVの上気道生検組織の病理学的特徴の解析では、ANCA関連血管炎性中耳炎(OMAAV)の組織学的パラメーターを抽出し、GPA、MPAとの異同を含む病理診断基準の策定を検討した。

PANの皮膚病変と皮膚動脈炎の病理学的特徴の相違では、PAN(全身型)、CA(皮膚限局型)、境界型の皮膚生検画像(HE染色40倍、各15枚、75枚、64枚)に対し、Python3のライブラリAugmentorを使用して、それぞれ10,000枚まで増幅後、AI(ディープニューラルネットワーク)に学習させた。その結果、AIはテストデータのPAN(全身型)とCA(皮膚限局型)の皮膚生検画像を正解率85%で鑑別した。

5) 国際協力分科会

国際共同研究DCVAS(血管炎の分類・診断基準作成)へ196例の臨床データを提供した。PAN国際疫学研究では、2019年6月時点で日本から39例を含む合計229例のデータを解析した。ANCA関連血管炎国際共同研究への登録症例(7例)のフォローアップデータを提供した(2019年11月まで)。V-PREGへの参加準備を進めた。肺限局型血管炎ワーキンググループを立ち上げ(びまん性肺疾患に関する調

査研究班との共同研究)、Dr. Specks と Dr. Flores-Suarez を招請し、PLV working group 国際会議を東京で開催した。厚労省びまん性肺疾患調査研究班と共同で AAV の科々連携および MPO-ANCA 陽性間質性肺炎に関するアンケート調査を実施した。

D. 考察

難治性血管炎の医療水準の更なる向上と患者支援体制充実を目的として、5つの分科会で研究を実施した。関連する AMED 研究班、難病研究班との共同研究を含め、予定した成果を着実に得ることができた。

大型および中・小型血管炎臨床分科会では、診断基準・重症度分類の関連学会承認、診療ガイドラインの作成と関連学会での承認、高安動脈炎の診断基準修正、バージャー病の診断基準修正案、川崎病性冠動脈瘤の診断基準案作成、「小児発症高安動脈炎の子どもと親のためのガイド」執筆などを通じ、わが国の難病対策の推進に貢献した。また、臨床病理分科会による血管炎コンサルテーションシステム運営は、血管炎の病理診断専門家が不足する中で、適切な診断を患者に提供するために非常に有用であった。

指定難病に関する新たなエビデンス構築に関しては、大型および中・小型血管炎臨床分科会による血管炎レジストリ、臨床調査個人票データベースの解析、臨床病理分科会による臨床検体の解析、国際協力分科会による国際共同研究への参加を通じて積極的に推進した。今後のガイドラインにそれらの結果が順次反映されていくと予想される。

血管炎に関する知識の啓発も政策研究班の重要な任務であり、横断研究分科会が中心となり、3年間で4回の市民公開講座を全国各地で開催し、14件に上る関連学会等との合同シンポジウム等の企画に協力した。今後も患者・家族への継続的な情報提供、血管炎に関する最新知見の啓発を行う必要がある。

E. 結論

3年間の本研究班の研究活動により難治性血管炎の医療水準の均てん化と更なる向上がもたらされることが期待される。

F. 研究発表

1. 論文発表

研究成果の刊行に関する一覧表を参照

2. 学会発表

研究成果の刊行に関する一覧表を参照

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

別添4

研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト（参考）

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
針谷正祥	結節性多発動脈炎	日本脈管学会	臨床脈管学	日本医学出版	東京	2017	318-319
磯部光章 他	血管炎症候群の診療ガイドライン	磯部光章	血管炎症候群の診療ガイドライン	日本循環器学会	東京	2018	
要 伸也	顕微鏡的多発血管炎	日本脈管学会	臨床脈管学	日本医学出版	東京	2017	322-324
要 伸也	わが国の血管炎診療ガイドラインの要点	有村義宏	血管炎（第2版）—基礎と臨床のクロストーク—	日本臨牀社	東京	2018	38-44
要 伸也	エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン 急速進行性腎炎症候群（RPGN）	日本腎臓学会	日本腎臓学会誌			2018	1185-1189
石津明洋	Ⅲ. 筋骨格系 7. 脈管（血管・リンパ管）	監修：深山正久, 森永正二郎	病理診断に直結した組織学	文光堂	東京	2017	54-60
石津明洋	総論 第3章 血管病変の成因と病理 B. 血管炎 3. 環境要因	日本脈管学会	臨床脈管学	日本医学出版	東京	2017	24-25
石津明洋	ANCA関連血管炎の克服を目指して	北海道大学	知のフロンティア 第4号 北海道大学の研究者は、いま	北海道大学・アドミッションセンター	札幌	2018	72-73

石津明洋	II. 高安動脈炎 2. 発症機序	磯部光章	血管炎症候群の診療ガイドライン (2017年改訂版)	https://www.j-circ.or.jp/old/guideline/pdf/JCS2017_iso_be_h.pdf		2018	11-12
石津明洋	I. 総論 厚生労働省難治性血管炎調査研究班：血管炎病理アトラスと血管炎病理診断コンサルテーションシステム	有村義宏	日本臨牀 76 (増刊号6) 血管炎 (第2版) ー基礎と臨床のクロストークー	日本臨牀社	大阪	2018	64-70
岩崎沙理, 石津明洋	IV. 小型血管炎 顕微鏡的多発血管炎の病理・病態	有村義宏	日本臨牀 76 (増刊号6) 血管炎 (第2版) ー基礎と臨床のクロストークー	日本臨牀社	大阪	2018	220-225
楠 由宏, 石津明洋	VIII. 最新の研究トピックス MPO-ANCA関連血管炎におけるPAD阻害剤によるNETs形成阻害	有村義宏	日本臨牀 76 (増刊号6) 血管炎 (第2版) ー基礎と臨床のクロストークー	日本臨牀社	大阪	2018	483-487
石津明洋	VIII. 最新の研究トピックス ANCA関連血管炎の治療反応性予測に関する遺伝子発現プロファイルの検討	有村義宏	日本臨牀 76 (増刊号6) 血管炎 (第2版) ー基礎と臨床のクロストークー	日本臨牀社	大阪	2018	582-586
Akihiro Ishiz	Neutrophilic cell pathobiology in the vasculitides	David Youinger	The Vasculitides (2nd Ed.)	Nova Science Publishers, Inc.	New York	in press	
藤元昭一 猪原登志子	ANCA関連血管炎に対する血漿交換療法 (PEXIVAS試験を含む)	有村義宏	日本臨床76	日本臨床社	大阪	2018	603-607
藤元昭一	VII 鑑別疾患 1. IgA血管炎。IgA腎症の病態と治療	川村哲也 鈴木祐介	IgA腎症の病態と治療	中外医学社	東京	2019	217 - 222

藤元昭一	C 免疫系、6. 顕微鏡的多発血管炎	水澤英洋	指定難病ペディア2019	日本医師会	東京	2019	S158-160
藤元昭一	血管炎に伴う腎症 (ANCA関連血管炎)	山縣邦弘 南学正臣	腎疾患・透析最新の治療	南江堂	東京	2020	170-173
高崎芳成	全身性エリテマトーデス	根本英一	病気とくすり増刊号	南山堂	東京	2017	241-245
高崎芳成	全身性硬化症, その他の膠原病	藤島一郎	疾患別に見る嚙下障害	医歯薬出版株式会社	東京	2017	420-425
天野宏一	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	日本脈管学会	臨床脈管学	日本医学出版	東京	2017	322-324
猪原登志子	最新の研究トピックス 臨床研究の進歩 ANCA測定法 (MPO-ANCA、PR3-ANCA)の現状と課題	株式会社日本臨床社	日本臨床 76巻増刊号6 【血管炎(第2版) -基礎と臨床のクロストーク-	株式会社日本臨床社	大阪、日本	2018	569-575
内田治仁	II. 大型血管炎、巨細胞性動脈炎、巨細胞性動脈炎の診断	有村義宏	血管炎(第2版) -基礎と臨床のクロストーク-	日本臨床社	東京	2018	127-131
川上民裕	抗血小板薬、血管拡張薬	塩原哲夫、照井正、大山学	皮膚科治療薬 処方ガイド 一年齢・病態に応じた薬の使い方	全日本病院出版会	東京	2017	151-156
川上民裕	ANCA関連血管炎 皮膚科の検査とその評価法	大塚藤男 土田哲也 五十嵐敦之 相馬良直 林伸和	皮膚科の臨床	金原出版	東京	2017	60-69
川上民裕	新ガイドラインからみる血管炎の全体像・診療アルゴリズム	横関博雄	日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌	春恒社	東京	2018	98-105
川上民裕	全身性血管炎による皮膚病変		リウマチ科	科学評論社	東京	2018	504-510

川上民裕	顕微鏡的多発血管炎	土田 哲也	Visual Dermatology	学研メデイカル秀潤社	東京	2018	526-528
川上民裕	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	土田 哲也	Visual Dermatology	学研メデイカル秀潤社	東京	2018	530-531
川上民裕	多発血管炎性肉芽腫症	土田 哲也	Visual Dermatology	学研メデイカル秀潤社	東京	2018	532-534
川上民裕	ANCA関連血管炎 皮膚科	有村 義宏	日本臨牀	日本臨牀社	東京	2018	348-354
中村晃一郎、岩田洋平、浅井純、川上民裕、常深祐一郎	ベーチェット病の皮膚粘膜病変診療ガイドライン	古江 増隆	日本皮膚科学会雑誌	杏林社	東京	2018	2087-2101
川上民裕	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、多発血管炎性肉芽腫症	古川 福実 佐伯 秀久	皮膚疾患最新の治療 2019-2020	南江堂	東京	2019	75
川上民裕	日本皮膚科学会の皮膚血管炎診療ガイドライン	宮坂信之	炎症と免疫	先端医学社	東京	2018	45-50
川上民裕	血管炎に伴う皮膚潰瘍 膠原病・血管炎に伴う皮膚潰瘍診療ガイドライン	日本皮膚科学会 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン策定委員会	創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン2018	金原出版	東京	2018	237-242
川上民裕	皮膚の血管炎	宮地良樹	皮膚科外来グリーンノート	中外医学社	東京	2018	113-117
川上民裕	Sweet病の皮膚	神田隆	BRAIN and NERVE	医学書院	東京	2019	334-338
川上民裕	Palpable purpura/Livedo	宮地良樹	All About 皮膚科学	メデイカルレビュー	東京	2019	68-69
宮部千恵、川上民裕	ANCAとANCA関連血管炎を基礎から固める	石黒直子	Monthly Book Derma	全日本病院出版会	東京	2019	27-32
川上民裕	血管炎・血管症	玉城善史 郎	小児科診療	診断と治療社	東京	2019	1578-1585

中村晃一郎、岩田洋平、浅井純、川上民裕、常深祐一郎.	皮膚粘膜病変分科会	水木信久、竹内正樹	バーチャット病診療ガイドライン2020	診断と治療社	東京	2020	54-74
川上民裕	単純性紫斑 老人性紫斑 ステロイド紫斑病 心因性紫斑	梶島 健治	今日の疾患辞典	株式会社プレジジョン	東京	2020	Web対応
川上民裕	紫斑	梅林芳弘	今日の間診票/診断辞典	株式会社プレジジョン	東京	2020	397-401
川上民裕	紫斑	帆足 俊彦	皮膚症状から考える皮膚疾患	南江堂	東京	2020	397-401
菅野祐幸	総論第3章 血管病変の成因と病理 B血管炎 4. 肉芽腫性血管炎	日本脈管学会編	臨床脈管学	日本医学出版	東京	2017	26-27
駒形嘉紀	免疫複合体性小型血管炎、Cogan症候群.	福井次矢、高木誠、小室一成	今日の治療指針 2018	医学書院	東京	2018	854-855
駒形嘉紀	免疫抑制薬 1)アルキル化剤 シクロフォスファミド.	川畑仁人	リウマチ・膠原病治療薬ハンドブック	文光堂	東京	2018	154-159
駒形嘉紀	多発血管炎性肉芽腫症	佐藤寿彦	Current Decision Support(今日の疾	プレジジョン	東京	2019	
中村好一	川崎病診断の手引きの変遷	日本川崎病学会	川崎病学	診断と治療社	東京	2018	6-8
新納宏昭	リツキシマブ	川畑仁人	リウマチ・膠原病治療薬ハンドブック	文光堂	東京	2018	132-140
新納宏昭	高安動脈炎, 巨細胞性動脈炎	福井次矢、高木誠、小室一成	今日の治療指針	医学書院	東京	2019	866-868
杉原毅彦	巨細胞性動脈炎	日本脈管学会	臨床脈管学	日本医学出版	東京	2017	316-317
杉原毅彦	巨細胞性動脈炎	磯部光章	医学のあゆみ 263巻6号	医歯薬出版	東京	2017	491-494

杉原毅彦	巨細胞性動脈炎の 新たな治療戦略	武井正美	臨床免疫・ア レルギー科	科学評論社	東京	2018	77-81
杉原毅彦	大血管炎における imaging biomarker としての PET の意 義	宮坂信之	リウマチ科	科学評論社	東京	2018	624-627
杉原毅彦	不明熱の原因とな るリウマチ性疾患	住田孝之	分子リウマ チ治療	先端医学社	東京	2018	36-40
杉原毅彦	巨細胞性動脈炎疫 学	有村義宏	血管炎（第2 版） —基礎 と臨床のク ロストーク —	日本臨床社	東京	2018	120-126
杉原毅彦	巨細胞性動脈炎	小室一成	循環器症候 群第3版	日本臨床	東京	2019	376-379
三浦健一 郎、服部元 史	慢性腎臓病	五十嵐隆	小児科診療ガ イドライン— 最新の診療指	総合医学社	東京	2019	426-430
鈴木啓之	川崎病の急性期治 療		小児コモン60 疾患 実践的 ガイドライン	中山書店	東京	2019	31-36
高橋 啓	川崎病の病理 a. 冠 動脈（急性期・遠隔 期）	日本川崎 病学会	川崎病学	診断と治療 社	東京	2018	37-41
高橋 啓	血管病変の成因と 病理		臨床脈管学	日本医学出 版社	東京	2017	18-20
田村直人	全身疾患合併血管 炎 悪性関節リウ マチ	日本脈管 学会	臨床脈管学	日本医学出 版社	東京	2017	338-339
土屋尚之	感受性遺伝子	重松宏	臨床脈管学	日本医学出 版社	東京	2017	21-23
土屋尚之	全身性エリテマト ーデス、全身性強皮 症、ANCA関連血管 炎.	櫻井晃洋	最新多因子 遺伝性疾患 研究と遺伝 カウンセリ	メディカル ドゥ	大阪	2018	174-183

土橋浩章	多発血管炎性肉芽腫症	日本脈管学会	臨床脈管学	日本医学出版	東京	2017	325-327
長坂憲治	多発血管炎性肉芽腫症	福井次矢、高木誠、小室一成	今日の治療指針	医学書院	東京	2018	851-3
中岡良和	高安動脈炎	日本脈管学会編集	臨床脈管学	日本医学出版	東京	2017	311-315
中岡良和	高安動脈炎の病態とIL-6阻害療法	熊ノ郷淳	免疫・炎症病態×治療Update	南山堂	東京	2019	157-164
中岡良和	大型血管炎（高安動脈炎、巨細胞性動脈炎）	福井次矢、高木誠、小室一成	今日の治療指針私はこう治療している2020	医学書院	東京	2020	885-887
中山健夫	診療ガイドラインに関する基本知識	門脇 孝、小室 一成、宮地良樹（監修）	日常診療に活かす診療ガイドラインUP-TO-DATE 2018-2019 -	株式会社メディカルレビュー社	東京	2018	10-15
南木敏宏	膠原病・アレルギー疾患。脈管炎・その他類縁疾患。リウマチ性多発筋痛症（PMR）	猿田享男、北村惣一郎	1336専門医による私の治療 2017-18年度版	日本医事新報社	東京	2017	846-848
南木敏宏	感染症	川合眞一	見逃してはいけないステロイドの副作用と対処法。ステロイド療法の極意	じほう	東京	2017	201-207
南木敏宏	難病の治療法 薬剤の開発：低分子化合物、分子標的薬・抗体医薬 関節リウマチ	松原洋一	難病研究up-to-date 臨床病態解析と新たな診断・治療法開発をめざして。遺伝子医学MOOK32	メディカルドゥ	大阪	2017	189-193
南木敏宏	服薬・注射指導～抜歯時・周術期、妊娠希望時・妊婦・授乳、ワクチン接種時の注意点～	川畑仁人	リウマチ・膠原病治療薬ハンドブックエキスパートが教える極意	文光堂	東京	2018	12-15

南木敏宏	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 {アレルギー性肉芽腫性血管炎 (Churg-Strauss症候群) }	福井次矢、高木誠、小室一成	今日の治療指針 私はこう治療している 2019年	医学書院	東京	2019	871-873
南木敏宏	関節リウマチ	浦部晶夫、島田和幸、川合眞一	今日の処方	南江堂	東京	2019	503-508
南木敏宏	関節と結合組織の構造と機能。総論。膠原病・リウマチ性疾患	三森経世	内科学書	中山書店	東京	2019	190-192
南木敏宏	顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症	福井次矢、高木誠、小室一成	今日の治療指針 私はこう治療している 2020年	医学書院	東京	2020	887-888
長谷川均	多発血管炎性肉芽腫症 (ウェゲナー肉芽腫症)	福井次矢、高木誠、小室一成編	今日の治療指針2018	医学書院	東京	2018	835-836
岸部 幹、原渕保明	ANCA 関連血管炎性中耳炎	小林俊光、高橋 晴雄、浦野正美編	ENT臨床フロレンティア, 耳鼻咽喉科標準治療のためのガイドライン活用術	中山書店	東京	2017	30-36
岸部 幹	多発血管炎性肉芽腫症 (ウェゲナー肉芽腫症)	森山 寛	今日の耳鼻咽喉科・頭頸部外科治療指針 第4版	医学書院	東京	2018	574-578
岸部 幹、原渕保明	ANCA関連血管炎性中耳炎 (OMAAV)	山嵜達也	耳鼻咽喉科診療の進歩 40のエッセンス	医歯薬出版	東京	2018	36-40
坂東政司	特発性間質性肺炎 (IIPs) の分類	川名明彦、江口研二	呼吸器疾患 - 最新の薬物療法 - 2	克誠堂	東京	2017	150-157

坂東政司	剥離性間質性肺炎(DIP)・呼吸細気管支炎を伴う間質性肺炎(RB-ILD)	日本呼吸器学会びまん性肺疾患学術部会／厚生労働省難治性疾患政策研究事業びまん性肺疾患に関する調査研究班	気管支肺胞洗浄【BSL】法の手引き 改訂第3版	克誠堂	東京	2017	84-88
坂東政司	特発性肺線維症に経口ステロイドを使ってはいけないのか	長瀬洋之	呼吸器疾患の薬物療法を極める	文光堂	東京	2018	137-141
坂東政司	MPO-ANCA 陽性間質性肺炎 診断・治療		血管炎(第2版)-基礎と臨床のクロストーク-	日本臨床社		2018	290-296
坂東政司	特発性肺線維症の治療ガイドライン UPDATE	門田淳一, 弦間昭彦, 西	呼吸器疾患最新の治療2019-2020	南江堂	東京	2019	25-29
坂東政司	特発性間質性肺炎	浦部晶夫, 島田和幸, 河	今日の処方改訂第6版	南江堂	東京	2019	179-184
坂東政司	MPO-ANCA 陽性間質性肺炎 診断・治療		血管炎(第2版)-基礎と臨床のクロストーク-	日本臨床社		2018	290-296

藏本伸生、 藤井 隆夫	第2章 各論. 抗リン 脂質抗体症候群	千海 俊幸	最新醫學別 冊 診断と治 療のABC139 リウマチ・膠 原病	最新医学社	大阪	2018	129-133
藤井 隆夫	13章 膠原病, その 他の全身疾患. 9. 血管炎症候群(高安 動脈炎, 顕微鏡的多 発血管炎)	浦部 晶 夫、島田 和幸、川合 眞一	今日の処方 (改訂第6 版)	南江堂	東京	2019	525-528
鈴木亜衣 香、坂本 晋、本間 栄	AAV 関連肺疾患の 臨床像	市川 智 章	臨床画像33	メジカルビ ュー社	東京	2017	1215- 1220
本間 栄	特発性間質性肺炎	福井次矢, 高木	2017今日の治 療指針	医学書院	東京	2017	309-310
本間 栄 (分担)	特発性肺線維症の 治療ガイドライン 2017	厚生労働 科学研究 補助金難 治性疾患 政策研究 事業 び まん性肺 疾患に関 する調査 研究班 特発性肺 線維症の 治療ガイ ドライン 作成委員 会 編	特発性肺線維 症の治療ガイ ドライン2017	南江堂	東京	2017	
本間 栄 (分担)	ANCA 関連血管炎診 療ガイドライン 2017	有村義宏, 丸山彰 一、本間 栄 編	ANCA関連血管 炎診療ガイド ライン2017	診断と治療 社	東京	2017	

坂本 晋 本間 栄	びまん性汎細気管 支炎/副鼻気管支 症候群.	藤田次 郎、大舩 裕治 編	呼吸器疾患： Clinical- Radiological - Pathological アプローチ	南江堂	東京	2017	110-114
本間 栄	特発性肺線維症	矢崎義雄 総編集	内科学第11版	朝倉書店	東京	2017	784-787
本間 栄 (分担)	難治性びまん性肺 疾患診療の手引き	厚生労働 科学研究 補助金難 治性疾患 政策研究 事業 び まん性肺 疾患に関 する調査 研究班 特発性肺 線維症の 治療ガイ ドライン 作成委員 会 編	難治性びまん 性肺疾患診療 の手引き	南江堂	東京	2017	
本間 栄 (分担)	間質性肺炎合併肺 癌に関するステー トメント	日本呼吸 器学会腫 瘍学術部 会・びま ん性肺疾 患学術部 会 編	間質性肺炎合 併肺癌に関す るステー トメント	南江堂	東京	2017	

Homma S	Therapeutic Strategies for DLI: How Should DLI be Treated?	(Eds) Hanaoka M, Nakamura H, Aoshiba K.	Drug-Induced Lung Injury	Springer	Singapore	2018	115-125
本間 栄 (分担)	特発性肺線維症	福井次矢, 高木 誠、小室 一成 編	2018今日の治 療指針	医学書院	東京	2018	306-308
坂本 晋 本間 栄	サルコイドーシス	門脇 孝、小室 一成、宮 地良樹 監修	診療ガイドラ インUP-TO-DA TE 2018-2019	メデイカル レビュー社	東京	2018	610-614
本間 栄	肺線維症の概念と 今後の展望	本間 栄 企画	症例から考え る難治性びま ん性肺疾患- 病態と最新治 療戦略-呼吸 器ジャーナ ル：66	医学書院	東京	2018	274-280
一色琢 磨、坂本 晋、本間 栄	特発性肺線維症の 急性増悪にリコ ニントロンボ モジュリンは有効 か？	本間 栄 企画	症例から考 える難治性 びまん性肺 疾患-病態と 最新治療戦 略-呼吸器ジ ャーナ ル：66	医学書院	東京	2018	274-280
坂本 晋 本間 栄	血管炎に伴う間質 性肺炎	三嶋理 晃、吾妻 安良太 編	間質生肺炎・ 肺線維症と類 縁疾患	中山書店	東京	2018	281-288

本間 栄 (分担)	薬剤性肺障害の臨床病型と主な原因 薬剤	日本呼吸器学会 薬剤性肺障害の診断・治療の手引き 第2版作成委員会編	薬剤性肺障害の診断・治療の手引き	メデイカルレビュー社	東京	2018	
本間 栄 (分担)	間質性肺炎の急性増悪	福井次矢, 高木誠、小室一成 編	今日の治療指針2019	医学書院	東京	2019	316-317
石田文昭、本間栄 (分担)	呼吸器疾患（慢性閉塞性疾患、運動誘発性喘息）	公益財団法人 健康・体力づくり事業財団	健康運動指導士養成講習会テキスト	南江堂	東京	2019	135-140
坂本晋、本間栄 (分担)	ANCA 関連血管炎における肺疾患	門田淳一、弦間昭彦、西岡安彦	呼吸器疾患最新の治療2019-2020	南江堂	東京	2019	346-348
本間 栄 (分担)	特発性間質性肺炎	水澤英洋, 五十嵐隆、北川泰久、高橋和久、弓倉 整 編	指定難病ペディア2019	日本医師会	東京	2019	194-196

本間 栄 (分担)	間質性肺炎における可溶性IL-2受容体の臨床病理学的意義に関する研究	公益信託「岡本敏記念肺線維症研究基金」運営委員会編	公益信託「岡本敏記念肺線維症研究基金」記念誌—27年のあゆみ—	COSMIC	東京	2019	22
坂本晋、本間栄(分担)	サルコイドーシス	診療ガイドラインUP TO Date 2020-2021	門脇 孝、小室一成、宮地良樹 監修	メディカルレビュー社	東京	2020	649-654
前嶋康浩	高安動脈炎：病態	有村義宏編	日本臨牀増刊号 血管炎(第2版)	日本臨牀社	東京	2018	102-106
宮崎龍彦	第3章血管病変の成因と病理、B.血管炎 5.壊死性血管炎.	日本脈管学会	臨床脈管学	日本医学出版	東京	2017	28-29
宮崎龍彦	第4章 免疫系,アレルギー	深山正久	はじめの一步の病理学	羊土社	東京	2017	194-218
宮崎龍彦, 小林一博	最新の研究トピックス 基礎研究の進歩 巨細胞性動脈炎におけるGalectin-3の病理学的・臨床病理学的意義	有村義宏	血管炎(第2版) —基礎と臨床のクロストーカー	日本臨牀社	東京	2018	456-460
吉藤 元	B.中小型血管炎 6.その他の中小型血管炎.	日本脈管学会	臨床脈管学	日本医学出版	東京	pp331-2	2017
吉藤 元	膠原病・リウマチ性疾患 高安動脈炎・巨細胞性動脈炎	南学正臣	内科学書改訂第9版Vol.2	中山書店	東京	pp259-63	2019

Yoshifuji H, Onizawa H.	Takayasu arteritis 1.	Hiroshi Toyama	PET/CT for Inflammatory Diseases - Basic Sciences, Typical Cases, and Review	Springer	New York City	pp120-3	2020
-------------------------------	-----------------------	-------------------	---	----------	---------------------	---------	------

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Akimoto Y, Yan K, Miura Y, Tsumoto H, Toda T, Fukutomi T, Sugahara D, Kudo A, Arai T, Chiba Y, Kaname S, et al.	O-GlcN acylation and phosphorylation of β -actin serine199 in diabetic nephropathy.	Am J Physiol Renal Physiology	317	1359-1374	2019
Ito S, Hidaka Y, Inoue N, Kaname S, Kato H, Matsumoto M, Miyakawa Y, Mizuno M, Okada H, Shimono A, Matsuda T, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Kagami S	Safety and effectiveness of eculizumab for pediatric patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance.	Clin Exp Nephrol	23	112-121	2019
Higashihara E, Yamamoto K, Kaname S, Okegawa T, Tanbo M, Yamaguchi T, Shigemori K, Miyazaki I, Yokoyama K, Nutahara K	Age- and height-adjusted total kidney volume growth rate in autosomal dominant polycystic kidney diseases.	Clin Exp Nephrol	23	100-111	2019
Fukuoka K, Miyamoto A, Ozawa Y, Ikegaya N, Maesonoe T, Komagata Y, Kaname S, Arimura Y	Adult-onset Still's disease-like manifestation accompanying cancer recurrence after long-term remission.	Mod Rheumatol	29	704-707	2019
Kato H, Miyakawa Y, Hidaka Y, Inoue N, Ito S, Kagami S, Kaname S, Matsumoto M, Mizuno M, Matsuda T, Shimono A, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Okada H	Safety and effectiveness of eculizumab for adult patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance.	Clin Exp Nephrol	23	65-75	2019
Yamada M, Kawakami T, Takashima K, Nishioka Y, Nishihata Y, Masuda S, Yoshida S, Tomaru U, Ishizu A.	Establishment of a rat model of thrombosis induced by intravenous injection of anti-phosphatidylserine/prothrombin complex antibody.	Rheumatology (Oxford)	56(6)	1013-1018	2017
Masuda S, Shimizu S, Matsuo J, Nishibata Y, Kusunoki Y, Hattanda F, Shida H, Nakazawa D, Tomaru U, Atsumi T, Ishizu A.	Measurement of NET formation in vitro and in vivo by flow cytometry.	Cytometry A	91(8)	822-829	2017

石津明洋.	皮膚科領域でみる血管炎の病理組織像からのアプローチ.	日本皮膚アレルギー・接触性皮膚炎学会雑誌	11(4)	296-299	2017
Morita S, Nakamaru Y, Nakazawa D, Hattanda F, Shida H, Kusunoki Y, Watanabe K, Masuda S, Hoshino K, Fukuda A, Homma A, Tomaru U, Ishizu A.	Elevated level of myeloperoxidase-deoxyribonucleic acid complex in the middle ear fluid obtained from patients with otitis media associated with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Otol Neurotol	39(4)	e257-e262	2018
Futamata E, Masuda S, Nishibata Y, Tanaka S, Tomaru U, Ishizu A.	Vanishing immunoglobulin: the formation of pauci-immune lesions in myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Nephron	138(4)	328-330	2018
Nishioka Y, Masuda S, Tomaru U, Ishizu A.	CD1d-restricted type II NKT cells reactive with endogenous hydrophobic peptides.	Front Immunol	9	548	2018
Mori A, Nishioka Y, Yamada M, Nishibata Y, Masuda S, Tomaru U, Honma N, Moriyama T, Ishizu A.	Brain-derived neurotrophic factor induces angiogenic factor secretion and nuclear translocation in human umbilical vein endothelial cells.	Pathol Res Pract	214(4)	521-526	2018
Shida, H, Hashimoto N, Kusunoki Y, Hattanda F, Ogawa Y, Hayashi T, Nakazawa D, Masuda S, Tomaru U, Ishizu A.	Anti-neutrophil extracellular trap antibody in a patient with relapse of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: a case report.	BMC Nephrol	19(1)	145	2018
Hasegawa J, Wakai S, Kono M, Imaizumi Y, Masuda S, Ishizu A, Honda K.	An autopsy case of myeloperoxidase-anti-neutrophil cytoplasmic antibody (MPO-ANCA)-associated vasculitis accompanied by cryoglobulinemic vasculitis affecting the kidney, skin, and gastrointestinal tract.	Intern Med	57(18)	2739-2745	2018

Morita S, Nakamaru Y, Nakazawa D, Suzuki M, Hoshino K, Fukuda A, Hattanda F, Kusunoki-Watanabe K, Tomaru U, Ishizu A, Homma A.	The diagnostic and clinical utility of the myeloperoxidase-deoxyribonucleic acid complex as a biomarker in otitis media with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Otol Neurotol	40(2)	e99-e106	2019
Nishioka Y, Sonoda T, Shida H, Kusunoki Y, Hattanda F, Tanimura S, Uozumi R, Yamada M, Nishibata Y, Masuda S, Nakazawa D, Tomaru U, Atsumi T, Ishizu A.	Detection of autoreactive type II NKT cells: a pilot study of comparison between healthy individuals and patients with vasculitis.	Cytometry A	93(11)	1157-1164	2018
Tomaru U, Konno S, Miyajima S, Kimoto R, Onodera M, Kiuchi S, Murata S, Ishizu A, Kasahara M.	Restricted Expression of the Thymoproteasome Is Required for Thymic Selection and Peripheral Homeostasis of CD8+ T Cells.	Cell Rep	26(3)	639-651.e2	2019
Nakazawa D, Masuda S, Tomaru U, Ishizu A.	Pathogenesis and therapeutic interventions for ANCA-associated vasculitis.	Nat Rev Rheumatol	15(2)	91-101	2019
Nishibata Y, Masuda S, Nakazawa D, Tanaka S, Tomaru U, Nergui M, Jia X, Cui Z, Zhao MH, Nakabayashi K, Ishizu A.	Epitope recognized by anti-anti-glomerular basement membrane (GBM) antibody in a patient with repeated relapse of anti-GBM disease.	Exp Mol Pathol	107	165-170	2019
Masuda S, Nonokawa M, Futamata E, Nishibata Y, Iwasaki S, Tsuji T, Hatanaka Y, Nakazawa D, Tanaka S, Tomaru U, Kawakami T, Atsumi T, Ishizu A.	Formation and disordered degradation of neutrophil extracellular traps in necrotizing lesions of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Am J Pathol	189(4)	839-846	2019
Watanabe-Kusunoki K, Abe N, Nakazawa D, Karino K, Hattanda F, Fujieda Y, Nishio S, Yasuda S, Ishizu A, Atsumi T.	A case report dysregulated neutrophil extracellular traps in a patient with propylthiouracil-induced anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Medicine (Baltimore)	98(17)	e15328	2019

Tomaru U, Konno S, Miyajima S, Kimoto R, Onodera M, Kiuchi S, Murata S, Ishizu A, Kasahara M.	Restricted Expression of the Thymoproteasome Is Required for Thymic Selection and Peripheral Homeostasis of CD8+ T Cells.	Cell Rep	26(3)	639-651.e2	2019
Nakazawa D, Masuda S, Tomaru U, Ishizu A.	Pathogenesis and therapeutic interventions for ANCA-associated vasculitis.	Nat Rev Rheumatol	15(2)	91-101	2019
Nishibata Y, Masuda S, Nakazawa D, Tanaka S, Tomaru U, Nergui M, Jia X, Cui Z, Zhao MH, Nakabayashi K, Ishizu A.	Epitope recognized by anti-glomerular basement membrane (GBM) antibody in a patient with repeated relapse of anti-GBM disease.	Exp Mol Pathol	107	165-170	2019
Masuda S, Nonokawa M, Futamata E, Nishibata Y, Iwasaki S, Tsuji T, Hatanaka Y, Nakazawa D, Tanaka S, Tomaru U, Kawakami T, Atsumi T, Ishizu A.	Formation and disordered degradation of neutrophil extracellular traps in necrotizing lesions of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Am J Pathol	189(4)	839-846	2019
Watanabe-Kusunoki K, Abe N, Nakazawa D, Karino K, Hattanda F, Fujieda Y, Nishio S, Yasuda S, Ishizu A, Atsumi T.	A case report dysregulated neutrophil extracellular traps in a patient with propylthiouracil-induced anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Medicine (Baltimore)	98(17)	e15328	2019
Watanabe T, Marumo Y, Ishizu A.	Retinal vasculitis in primary Sjögren's syndrome.	Rheumatology (Oxford)	58(7)	1244	2019
Hattanda F, Nakazawa D, Watanabe-Kusunoki K, Kusunoki Y, Shida H, Masuda S, Nishio S, Tomaru U, Atsumi T, Ishizu A.	The presence of anti-neutrophil extracellular trap antibody in patients with microscopic polyangiitis.	Rheumatology (Oxford)	58(7)	1293-1298	2019
Nonokawa M, Suzuki K, Hayashi H, Nishibata Y, Masuda S, Nakazawa D, Tanaka S, Tomaru U, Ishizu A.	Native myeloperoxidase is required to make the experimental vasculitis model.	Arthritis Res Ther	21(1)	296	2019

Takahashi K, Nakamura J, Sakiyama S, Nakaya T, Sato T, Watanabe T, Ohira H, Makita K, Tomaru U, Ishizu A, Tsujino I.	A histopathological report of a 16-year-old male with peripheral pulmonary artery stenosis and Moyamoya disease with a homozygous RNF213 mutation.	Respir Med Case Rep	29	100977	2019
川上民裕, 有村義宏, 池田高治, 石黒直子, 石津明洋, 伊藤吹夕, 猪原登志子, 沖山奈緒子, 小野さち子, 鈴木和男, 菅原弘二, 清島真理子, 小寺雅也, 田中麻衣子, 長谷川稔, 古川福実, 山口由衣, 吉崎 歩, 日本皮膚科学会 新血管炎・血管障害診療ガイドライン改訂委員会.	皮膚動脈炎（皮膚型結節性多発動脈炎）の全国アンケート調査結果.	日本皮膚科学会雑誌	129(9)	1901-1907	2019
Isobe M, Amano K, Arimura Y, Ishizu A, Ito S, Kaname S, Kobayashi S, Komagata Y, Komuro I, Komori K, Takahashi K, Tanemoto K, Hasegawa H, Harigai M, Fujimoto S, Miyazaki T, Miyata T, Yamada H, Yoshida A, Wada T, Inoue Y, Uchida HA, Ota H, Okazaki T, Onimaru M, Kawakami T, Kinouchi R, Kurata A, Kosuge H, Sada KE, Shigematsu K, Suematsu E, Sueyoshi E, Sugihara T, Sugiyama H, Takeno M, Tamura N, Tsumumino M, Dobashi H, Nakaoka Y, Nagasaka K, Maejima Y, Yoshifuji H, Watanabe Y, Ozaki S, Kimura T, Shigematsu H, Yamauchi-Takahara K, Murohara T, Momomura SI; JCS Joint Working Group.	JCS 2017 Guideline on Management of Vasculitis Syndrome-Digest Version.	Circ J	84(2)	299-359	2020
Watanabe-Kusunoki K, Nakazawa D, Kusunoki Y, Kudo T, Hattanda F, Nishio S, Masuda S, Tomaru U, Kondou T, Atsumi T, Ishizu A.	Recombinant thrombomodulin ameliorates autoimmune vasculitis via immune response regulation and tissue injury protection.	J Autoimmun	108	102390	2020

<p>Hara A, Wada T, Sada KE, Amano K, Dobashi H, Harigai M, Takasaki Y, Yamada H, Hasegawa H, Hayashi T, Fujimoto S, Muso E, Kawakami T, Homma S, Yoshida M, Hirahashi J, Ogawa N, Ito S, Makino H, Arimura Y; Research Committee on Intractable Vasculitides and the Strategic Study Group to Establish the Evidence for Intractable Vasculitis Guideline</p>	<p>Risk Factors for Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis in Japan: A Nationwide, Prospective Cohort Study</p>	<p>J Rheumatology</p>	<p>45(4)</p>	<p>521-528</p>	<p>2018年</p>
<p>Watanabe H, Sada KE, Matsumoto Y, Harigai M, Amano K, Dobashi H, Fujimoto S, Usui J, Yamagata K, Atsumi T, Banno S, Sugihara T, Arimura Y, Matsuo S, Makino H; For Japan Research Committee of the Ministry of Health Labour, Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health Labour, Welfare of Japan</p>	<p>Association between reappearance of myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody and relapse in antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: Subgroup analysis of nationwide prospective cohort studies.</p>	<p>Arthritis Rheumatol</p>	<p>70(10)</p>	<p>1626-1633</p>	<p>2018年</p>
<p>Komatsu H, Fujimoto S, Maruyama S, Mukoyama M, Sugiyama H, Tsuruya K, Sato H, Soma J, Yano J, Itano S, Nishino T, Sato T, Narita I, Yokoyama H</p>	<p>Distinct characteristics and outcomes in elderly-onset IgA vasculitis (Henoch-Schönlein purpura) with nephritis: Nationwide cohort study of data from the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR).</p>	<p>PLoS one</p>	<p>13(5)</p>	<p>e0196955</p>	<p>2018年</p>

Walsh M, Merkel PA, Peh C, A, Szpirt W, Puechal X, Fujimoto S, Hawley CM, Khalidi N, Floßmann O, Wald R, Girard LP, Levin A, Gregorini G, Harper L, Clark WF, Pagnoux C, Specks U, Smyth L, Vladimir Tesar V, Ito-Ihara T, de Zosya JR, Szczeklik W, Flores-Suarez LF, Carette S, Guillevin L, Pusey CD, Casian AL, Brezina B, Mazzetti A, McAlear CA, Broadhurst E, Reidlinger D, Mehta S, Ives N, Jayne DRW, for the PEXIVAS Investigators	Plasma exchange and glucocorticoids for severe ANCA-associated vasculitis	N Engl J Med	382	622-631	2020年
Watanabe H, Sada KE, Matsumoto Y, Harigai M, Amano K, Fujimoto S, Dobashi H, Yuzawa Y, Yamagata K, Muso E, Arimura Y, Makino H	Rationale of concomitant cyclophosphamide for remission-induction in patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: A propensity score-matched analysis of two nationwide prospective cohort studies	Mod Rheumatol	doi: 10.1080/14397595	1月9日	2020年
Shibata A, Kurasawa T, Okada Y, Chino K, Saito S, Okuyama A, Takei H, Sakai R, Kondo T, Amano K	Successful treatment with tocilizumab monotherapy for Takayasu arteritis developing during infliximab therapy in a patient with ulcerative colitis.	Mod Rheumatol Case Rep	2(2)	174-176	2018
Harigai M, Nagasaka K, Amano K, Bando M, Dobashi H, Kawakami T, Kishibe K, Murakawa Y, Usui J, Wada T, Tanaka E, Nango E, Nakayama T, Tsutsumino M, Yamagata K, Homma S, Arimura Y.	2017 Clinical practice guidelines of the Japan Rheumatology Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis for the management of ANCA-associated vasculitis.	Mod Rheumatol	29(1)	20-30	2019
石井智徳	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	JOHNS (ジョンズ)	36(3)		2020
石井智徳	大型血管炎に対するトシリズマブ療法	リウマチ科	61(4)	331-	2019

Uno K, Muso E, Ito-Ihara T, Suzuki K.	Cytokine/chemokine changes in plasma of patients with MPO-ANCA RPGN: Before and after IVIg therapy.	ADC Letter for Infectious Diseases Control.	4(2)	41-43	2017
日本臨床試験学会 臨床研究委員会, 樽野弘之, 伊藤陽一, 猪原登志子,・・・吉田義一, 吉田浩輔	臨床研究に関する課題.	薬理と治療	45 (suppl-1)	5034 -5041	2017
黒田隆, 猪原登志子, 向井久美, 浅田隆太, 秋山治彦, 松田秀一.	【ステロイド関連大腿骨頭壊死症の予防と新しい治療】特発性大腿骨頭壊死症に対する成長因子を用いた再生医療.	整形・災害外科	60巻11号	1393-1399	2017
猪原 登志子.	抗好中球細胞質抗体の測定に関する国際コンセンサス.	リウマチ科	273-281	62(3)	2019
内田治仁、和田淳	高安動脈炎における肺血管病変	呼吸器内科	第32巻第4号	354-359	2017
内田治仁	巨細胞性動脈炎の診断	日本臨牀	76巻増刊号6別冊	127-131	2018
内田治仁、松本佳則	JAK阻害薬による血管炎治療の可能性	リウマチ科	第62巻第5号	451-456	2019
Okano T, Takeuchi S, Soma Y, Suzuki K, Tsukita S, Ishizu A, Suzuki K, Kawakami T.	Presence of anti-phosphatidylserine-prothrombin complex antibodies and anti-moesin antibodies in patients with polyarteritis nodosa.	J. Dermatol.	44	118-122	2017
Kawakami T, Okano T, Takeuchi S, Soma Y, Ito F, Ishizu A, Arimura Y, Suzuki K.	Elevated moesin mRNA level in skin tissue of patients with polyarteritis nodosa based on real time RT-PCR.	J. Dermatol. Sci	87	94-97	2017
Isahaya K, Kawakami T, Shiraishi M, Akiyama H, Hasegawa Y.	Nerve conduction study of lower extremities in cutaneous arteritis patients with neurological manifestations.	J. Dermatol.	44	1299-1302	2017

Kawakami T, Takeuchi S, Soma Y.	Elevated levels of serum IgM anti-phosphatidylserine-prothrombin complex antibodies in patients with cancer-associated vasculitis.	Inter.J. Dermatol.	56(10)	e203-e204	2017
Ikeda T, Furukawa F, Kawakami T, Ishiguro N, Uzuki M, Ozaki S, Katsuoka K, Kono T, Kawana S, Kodera M, Sawai T, Sawada Y, Seishima M, Tanikawa A, Chen K, Hasegawa M.	Committee for guidelines for the management of vasculitis and vascular disorders of the Japanese Dermatological Association. Outline of guidelines for the management of vasculitis and vascular disorders in Japan, 2016 revised edition.	J. Dermatol.	doi: 10.1111/1346-8138.14086.		2017
廣川悠季、北澤智子、松岡摩耶、川上民裕、村上富美子、浅利佑紗	下垂足・下垂手を生じた顕微鏡的多発血管炎の1例	皮膚科の臨床	59巻5号	559-563	2017
伊佐早健司、白石眞、田中啓太、佐々木梨衣、川上民裕、長谷川泰弘	皮膚生検により皮膚動脈炎による下肢多発性単ニューロパチーと診断し得た1例	臨床神経学	57巻	307-310	2017
川上民裕	両下腿から足背の浮腫と紫斑 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	日経メディカル	596号	69-70	2017
川上民裕	血管炎型皮疹 エリテマトーデスを究める	Visual Dermatology	16巻8号	772-774	2017
藤本学、浅井純、浅野善英、石井貴之、岩田洋平、川上民裕、小寺雅也、安部正敏、天野正宏、池上隆太、為政大幾、磯貝善蔵、伊藤孝明、井上雄二、入澤亮吉、大塚正樹、尾本陽一、加藤裕史、門野岳史、金子栄、加納宏行、川口雅一、久木野竜一、幸野健、古賀文二、境恵祐、櫻井英一、皿山泰子、新谷洋一、谷岡未樹、谷崎英昭、辻田淳、土井直孝、中西健史、橋本彰、長谷川稔、林昌浩、廣崎邦紀、藤田英樹、藤原浩、前川武雄、松尾光馬、間所直樹、茂木精一郎、八代浩、山崎修、吉野雄一郎、レバヴァーアンドレ、立花隆夫、尹浩信。	膠原病・血管炎にともなう皮膚潰瘍診療ガイドライン 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン-4	日本皮膚科学会雑誌	127巻	2033-2075	2017

Miyabe C, Miyabe Y, Bricio-Moreno L, Lian J, Rahimi RA, Miura NN, Ohno N, Iwakura Y, Kawakami T, Luster AD.	Dectin-2-induced CCL2 production in tissue-resident macrophages ignites cardiac arteritis.	J Clin Invest.	6(130)	3610-3624	2019
Akino S, Ohashi H, Okano T, Takeuchi S, Kawakami T, Soma Y, Kadono T.	Sudden elevation of plasma D-dimer levels induced by the combination therapy of dabrafenib and trametinib: Report of two cases.	J Dermatol.	46(4)	358-360	2019
Nakamura K, Iwata Y, Asai J, Kawakami T, Tsunemi Y, Takeuchi M, Mizuki N, Kaneko F. Members of the Consensus Conference on Treatment of Skin and Mucosal Lesions	Guidelines for the treatment of skin and mucosal lesions in Behçet's disease: A secondary publication.	J Dermatol.	47(3)	223-235	2020
菅野祐幸	専門医が知っておくべき関節リウマチの病理	臨床リウマチ	31(4)	271-274	2019
菅野祐幸	中枢神経系の血管炎の病理-特集 I 血管炎症候群と神経障害	脳神経内科	91(3)	301-305	2019
宮平鷹揚、中村昭則、武井洋一、大原慎司、菅野祐幸	筋痛を主症状とし筋性検にて診断したANCA陰性の顕微鏡的血管炎の1例	脳神経内科	91(1)	117-121	2019
Yamanaka M, Fujigaki Y, Kono H, Nagura M, Arai S, Tamura Y, Ota T, Shibata S, Kondou F, Yamaguchi Y, Uchida S	A patient presenting with isolated hematuria and renal dysfunction as rare manifestation of cryoglobulinemic glomerulonephritis in the course of autoimmune diseases including Sjögren's syndrome.	CEN case reports	7巻 2号	211~216	2018.4
内田俊也, 河野肇, 浅子来美, 菊地弘敏, 本間文佳, 豊城大悟, 古西純子, 奈倉倫人, 山崎ちひろ, 兒島憲一郎, 藤垣嘉秀, 鈴木和男	全身性血管炎患者血清における抗モエシン抗体の臨床的意義	日本腎臓学会誌	60巻 3号	424	2018.4
河野 肇	国際臨床多施設共同研究の現況	日本臨床	76巻	58~63	2018.7
河野 肇	「血管炎(第2版)基礎と臨床のクロストーク」国際臨床多施設共同研究の現況	日本臨床	76巻	58~63	2018.7

竹中 健智, 南 朋子, 吉橋 洋子, 平田 真哉, 木村 佳貴, 河野 肇	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対してベンラリズマブを投与後、MPO-ANCAが低下し、寛解が維持された一例	日本リウマチ学会 関東支部学術集会 プログラム・抄録集	29巻	77	2018.12
富塚 崇史, 板宮 孝紘, 浅子 来美, 菊地 弘敏, 津久井 大輔, 木村 佳貴, 本田 善一郎, 河野 肇, 近藤 福雄	造影CTでは診断できず、FDG-PET-CTで診断し得た巨細胞性動脈炎の2例	日本リウマチ学会 関東支部学術集会 プログラム・抄録集	29巻	80	2018.12
Takenaka K, Minami T, Yoshinashi Y, Hirata S, Kimura Y, Kono H	Decrease in MPO-ANCA after administration of benralizumab in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis.	Allergology international	68巻 4号	539~540	2019.1
富塚 崇史, 河野 肇	【全身性疾患と腎update】(第1章)膠原病、血管炎、自己免疫疾患 結節性多発動脈炎・リウマチ専門医の視点より	腎と透析	86	62 - 65	2019.6
Kitazawa T, Seo K, Yoshino Y, Asako K, Kikuchi H, Kono H, Ota Y	Efficacies of atovaquone, pentamidine, and trimethoprim/sulfamethoxazole for the prevention of Pneumocystis jirovecii pneumonia in patients with connective tissue diseases.	Journal of infection and chemotherapy	25巻 5号	351~354	2019.5
Yokoyama Nozomi, Kawasaki Aya, Matsushita Takashi, Furukawa Hiroshi, Kondo Yuya, Hirano Fumio, Sada Ken-ei, Matsumoto Isao, Kusaoi Makio, Amano Hirofumi, Nagaoka Shohei, Setoguchi Keigo, Nagai Tatsuo, Shimada Kota, Sugii Shouji, Hashimoto Atsushi, Matsui Toshihiro, Okamoto Akira, Chiba Noriyuki, Suematsu Eiichi, Ohno Shigeru, Katayama Masao, Iwaki Yoshinari, Hashimoto Hiroshi, Makino Hirofumi, Arimura Yoshihiro, Harigai Masayoshi, Sato Shinichi, Sumida Takayuki, Tohma Shigeto, Takehara Kazuhiko, Tsuchiya Naoyuki	Association of GTF2I Region Polymorphism with Systemic Lupus Erythematosus and Systemic Sclerosis, but Not with ANCA-Associated Vasculitis and Polyomyositis/Dermatomyositis, in a Japanese Population	ARTHRITIS & RHEUMATOLOGY	70巻		2018.9

Kawasaki A, Yamashita K, Hirano F, Sada KE, Tsukui D, Kondo Y, Kimura Y, Asako K, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Nagasaka K, Sugihara T, Yamagata K, Sumida T, Tohma S, Kono H, Ozaki S, Matsuo S, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N	Association of ETS1 polymorphism with granulomatosis with polyangiitis and proteinase 3-antibody positive vasculitis in a Japanese population.	Journal of human genetics	63巻 1号	55-62	2018.1
Tsukui D, Kono H	Ultraviolet Purpura in IgA Vasculitis.	Mayo Clinic proceedings	93巻1号	122	2018.1
Morimoto C, Fujigaki Y, Tamamura Y, Ota T, Shibata S, Asako K, Kikuchi H, Kono H, Kondo F, Yamaguchi Y, Uchida S	Emergence of Smoldering ANCA-associated Glomerulonephritis During the Clinical Course of Mixed Connective Tissue Disease and Sjögren's Syndrome.	Internal medicine (Tokyo, Japan)	57巻12号	1757-1762	2017.12
河野 肇	【免疫学の基本的知識およびリウマチ性疾患との関連について理解する】マクロファージと炎症性サイトカイン	リウマチ科	58巻5号	480 - 486	2017.11
Hajime Kono, Shunya Uchida, Eri Muso, Tomomi Endo, Hiroko Kakita, Yoshitomo Hamano, Tatsuo Tsukamoto, Shuichiro Endo, Kunihiro Yamagata, Joichi Usui, Michael Walsh, Peter Merkel, David Jayne, Ken-ei Sada, Hirofumi Makino, Yoshinori Komagata, Yoshihiro Arimura, Kazuo Suzuki, Toshiko Ito-Ihara, Shouichi Fujimoto	DEMOGRAPHIC CHARACTERISTICS OF JAPANESE PARTICIPANTS IN PEXIVAS AS COMPARED WITH REMIT-JAV	RHEUMATOLOGY	56巻	150	2017.3
Kimura Y, Asako K, Kikuchi H, Kono H	Refractory optic perineuritis due to granulomatosis with polyangiitis successfully treated with methotrexate and mycophenolate mofetil combination therapy.	European journal of rheumatology	4巻1号	70-72	2017.3

Watanabe M, Yamada C, Komagata Y, Kikuchi H, Hosono H, Itagaki F.	New low-dose liquid pilocarpine formulation for treating dry mouth in Sjogren's syndrome: clinical efficacy, symptom relief, and improvement in quality of life.	J Pharm Health Care Sci.	4	4	2018
Saraya T, Fukuoka K, Maruno H, Komagata Y, Fujiwara M, Kaname S, Arimura Y, Yamada A, Takizawa H.	Tenosynovitis with Rice Body Formation Due to Mycobacterium Intracellular Infection After Initiation of Infliximab Therapy.	Am J Case Rep.	19	656-662	2018
Endo A, Komagata Y, Yamagishi K, Ikegaya N, Fukuoka K, Karube M, Arimura Y, Kaname S.	Two distinct subsets of low density granulocytes in anca associated vasculitis.	Annals of the Rheumatic Diseases Annals of the Rheumatic Diseases	77 (Sup 2)	1113-1114	2018
Yamagami Y, Saeki K, Tai Y, Maegawa T, Iwamoto J, Kataoka H, et al.	Objectively measured physical activity relates to night-time blood pressure in older adults: cross-sectional analysis in the HEIJO-KYO cohort. J Hypertens. J Hypertens.	J Hypertens.	38	649-55	2020
Nishi T, Saeki K, Miyata K, Yoshikawa T, Ueda T, Kurumatani N, et al.	Effects of Cataract Surgery on Melatonin Secretion in Adults 60 Years and Older: A Randomized Clinical Trial.	JAMA Ophthalmol.		Epub ahead of print	2020
Tomioka K, Kurumatani N, Saeki K.	The Association Between Education and Smoking Prevalence, Independent of Occupation: A Nationally Representative Survey in Japan.	J Epidemiol.	30	136-42	2020
Kataoka H, Saeki K, Yamagami Y, Sugie K, Obayashi K.	Quantitative associations between objective sleep measures and early-morning mobility in Parkinson's disease: cross-sectional analysis of the PHASE study.	Sleep.	43	Epub ahead of print	2020
Obayashi K, Yamagami Y, Kurumatani N, Saeki K.	Bedroom lighting environment and incident diabetes mellitus: a longitudinal study of the HEIJO-KYO cohort.	Sleep Med.	65	1月3日	2020

Yoshikawa T, Obayashi K, Miyata K, Ueda T, Kurumatani N, Saeki K, et al.	Association between glaucomatous optic disc and depressive symptoms independent of light exposure profiles: a cross-sectional study of the HEIJO-KYO cohort.	Brit J Ophthalmol.	103(8)	1119-22.	2019
Tai Y, Saeki K, Yamagami Y, Yoshimoto K, Kurumatani N, Nishio K, et al.	Association between timing of hot water bathing before bedtime and night-/sleep-time blood pressure and dipping in the elderly: a longitudinal analysis for repeated measurements in home settings.	Chronobiol Int.	36(12)	1714-22	2019
Obayashi K, Yamagami Y, Tatsumi S, Kurumatani N, Saeki K.	Indoor light pollution and progression of carotid atherosclerosis: A longitudinal study of the HEIJO-KYO cohort.	Environ Int.	33(Pt B)	1105184	2019
Obayashi K, Yamagami Y, Kurumatani N, Saeki K.	Bedroom lighting environment and incident diabetes mellitus: a longitudinal study of the HEIJO-KYO cohort.	Sleep medicine.	65	1月3日	2019
Komatsu M, Obayashi K, Tomioka K, Morikawa M, Jojima N, Okamoto N, Saeki K, et al.	The interaction effect between physical and cultural leisure activities on the subsequent decline of instrumental ADL: the Fujiwara-kyo study.	Environ Health Prev Med.	71	24	2019
Iwamoto J, Saeki K, Kobayashi M, Yamagami Y, Yoshida O, Kurumatani N, et al.	Lower Incidence of In-Hospital Falls in Patients Hospitalized in Window Beds Than Nonwindow Beds.	J Am Med Dir Assoc.		Epub ahead of print	2019
Tomioka K, Kurumatani N, Saeki K.	Older Adult Males Who Worked at Small-Sized Workplaces Have an Increased Risk of Decline in Instrumental Activities of Daily Living: A Community-Based Prospective Study.	J Epidemiol.	29	407-13.	2019

Tomioka K, Kurumatani N, Saeki K.	Association between housing tenure and self-rated health in Japan: Findings from a nationwide cross-sectional survey.	PLoS One.	14	e0224821.	2019
Jun Ishizaki, Ayako Takemori, Koichiro Suemori, Takuya Matsumoto, Yoko Akiyama, Ken-ei Sada, Yukio Yuzawa, Koichi Amano, Yoshinari Takasaki, Masayoshi Harigai, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Masaki Yasukawa, Nobuaki Takemori and Hitoshi Hasegawa	Targeted proteomics reveals promising biomarkers of disease activity and organ involvement in antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis	Arthritis Res Ther	19	218	2017
Ohashi K, Morishita M, Watanabe H, Sada KE, Katsuyama T, Miyawaki Y, Katsuyama E, Narazaki M, Tatebe N, Watanabe K, Kawabata T, Wada J.	Central Diabetes Insipidus in Refractory Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis.	Internal Medicine	56	2943-2948	2017
Morishita M, Watanabe H, Yan M, Zeggar S, Hiramatsu S, Ohashi K, Miyawaki Y, Katsuyama E, Katsuyama T, Takano Narazaki M, Toyota Tatebe N, Sunahori Watanabe K, Kawabata T, Sada KE, Wada J.	Azathioprine Intolerance in Japanese Patients with Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis	Internal Medicine	56	1645-1650	2017
Matsuo S, Hayashi K, Morimoto E, Kato A, Sada KE, Watanabe H, Takano-Narazaki M, Sunahori-Watanabe K, Kawabata T, Wada J.	The Successful Treatment of Refractory Polyarteritis Nodosa Using Infliximab	Internal Medicine	56	1435-1438	2017
Nagasaka K, Harigai M, Hata-gino N, Hara A, Horita T, Hayashi T, Itabashi M, Inoue S, Katsumata Y, Kawashima S, Naniwa T, Sada KE, Nango E, Nakayama T, Tsuytsumino M, Yamagata K, Homma S, Arimura Y.	Systematic Review and Meta-analysis for 2017 Clinical Practice Guidelines of the Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis for the Management of ANCA-associated Vasculitis.	Mod Rheumatol.	29	119-129	2019

Watanabe H, Sada KE, Matsumoto Y, Harigai M, Amano K, Dobashi H, Fujimoto S, Usui J, Yamagata K, Atsumi T, Banno S, Sugihara T, Arimura Y, Matsuo S, Makino H	Association between reappearance of myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody and relapse in antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: Subgroup analysis of nationwide prospective cohort studies.	Arthritis Rheumatol.	70	1626-1633	2018
Nakano Y, Miyawaki Y, Sada KE, Yamamura Y, Kano Y, Hayashi K, Watanabe H, Matsumoto Y, Kawabata T, Wada J.	Development of Hypertrophic Pachymeningitis in a Patient With Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Negative Eosinophilic Granulomatosis With Polyangiitis.	J Clin Rheumatol.		Epub ahead of print	2018
Imamura R, Hayashi K, Sada KE, Yamamura Y, Yamaguchi S, Morishita M, Watanabe H, Matsumoto Y, Wada J.	Hemoptysis Originating from the Bronchial Artery in Takayasu Arteritis with Ulcerative Colitis.	Intern Med.	58	293-295	2019
Yosuke Asano, Ken-Ei Sada, Keigo Hayashi, Yuriko Yamamura, Sumie Hiramatsu, Keiji Ohashi, Yoshia Miyawaki, Michiko Morishita, Haruki Watanabe, Yoshinori Matsumoto, Tomoko Kawabata, Noriyuki Tanaka, Sakiko Hiraoka, Jun Wada	Lymphoproliferative disease in a patient with Takayasu arteritis and ulcerative colitis	Modern Rheumatology Case Reports	13	34-37	2018
Segoe S, Sada KE, Hayashi K, Yamamura Y, Morishita M, Watanabe H, Matsumoto Y, Wada J.	Antineutrophil cytoplasmic antibody-positive familial Mediterranean fever and hyperthyroidism: A case report.	Medicine (Baltimore).	97	e13805	2018

Yokoyama N, Kawasaki A, Matsushita T, Furukawa H, Kondo Y, Hirano F, Sada KE, Matsumoto I, Kusaoi M, Amano H, Nagaoka S, Setoguchi K, Nagai T, Shimada K, Sugii S, Hashimoto A, Matsui T, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Ohno S, Katayama M, Migita K, Konno H, Hasegawa M, Kobayashi S, Yamada H, Nagasaka K, Sugihara T, Yamagata K, Ozaki S, Tamura N, Takasaki Y, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Sato S, Sumida T, Tohma S, Takehara K, Tsuchiya N.	Association of NCF1 polymorphism with systemic lupus erythematosus and systemic sclerosis but not with ANCA-associated vasculitis in a Japanese population.	Sci Rep.	9(1)	16366	2019
Morishita M, Sada KE, Matsumoto Y, Hayashi K, Asano Y, Hiramatsu Asano S, Ohashi K, Miyawaki Y, Katsuyama E, Watanabe H,	Risk factors for cytomegalovirus infection in patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-	PLoS One	14(7)	E0218705	2019
Namba N, Kawasaki A, Sada KE, Hirano F, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Shimada K, Hashimoto A, Matsui T, Nagasaka K, Sugihara T, Suzuki A, Yamagata K, Sumida T,	Association of MUC5B promoter polymorphism with interstitial lung disease in myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody-	Ann Rheum Dis.	78(8)	1144-1146	2019
新納宏昭	巨細胞性動脈炎のメタ解析	リウマチ科	第 62 卷	287-293	2019
Fukui S, Kuwahara-Takaki A, Ono N, Sato S, Koga T, Kawashiri SY, Iwanaga N, Iwamoto N, Ichinose K, Tamai M, Nakamura H, Origuchi T, Migita K,	Serum levels of fibroblast growth factor-2 distinguish Takayasu arteritis from giant cell arteritis independent of age at	Sci Rep.	9	688	2019

Namba N, Kawasaki A, Sada KE, Hirano F, Kobayashi S, Yamada H, Sugihara T(12 番目) et al.	Association of MUC5B promoter polymorphism with interstitial lung disease in myeloperoxidase-antineutrophil	Ann Rheum Dis.	78	1144	2019
Watanabe H, Sada KE, Matsumoto Y, Harigai M, Amano K, Dobashi H, Fujimoto S, Usui J, Yamagata K, Atsumi T, Banno S, Sugihara T, Arimura Y, Matsuo S, Makino H	Association Between Reappearance of Myeloperoxidase-Antineutrophil Cytoplasmic Antibody and Relapse in Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-	Arthritis Rheumatol.	70	1626-1633	2018
Kawasaki A, Yamashita K, Hirano F, Sada KE, Tsukui D, Kondo Y, Kimura Y, Asako K, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Nagasaka K, Sugihara T,	Association of ETS1 polymorphism with granulomatosis with polyangiitis and proteinase 3-anti-neutrophil cytoplasmic	J Hum Genet.	63	55-62	2018
Yamagata K, Usui J, Sugiyama H, Maruyama S, Narita I.	Temporal change in life and renal prognosis of rapidly progressive glomerulonephritis in	Clin Exp Nephrol.	23	573-575	2019
Suzuki A, Sakamoto S, Kurosaki A, Kurihara Y, Satoh K, Usui Y, Nanki T, Arimura Y, Makino H, Okada Y, Harigai M, Yamagata K, Sugiyama H, Dobashi H, Ishizu A, Tsuboi N, Usui J, Sada KE, Homma S; for Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for	Chest High-Resolution CT Findings of Microscopic Polyangiitis: A Japanese First Nationwide Prospective Cohort Study.	Am J Roentgenol.	213	104-114	2019

Miyamae T, Tani Y, Kishi T, Yamanaka H, Singh G.	Updated version of Japanese Childhood Health Assessment	Mod Rheumatol.	19	1月5日	2019
Nagasawa T, Miura K, Kaneko N, Yabuuchi T, Ishizuka K, Chikamoto H, Akioka Y, Hisano M, Hattori M:	Long-term outcome of renal transplantation in childhood-onset anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated	Pediatric Transplantation	doi.org/10.1111/petr.13656		2019
Nakashima Y, Sakai Y, Mizuno Y, Furuno K, Hirono K, Takatsuki S, Suzuki H, et al	Lipidomics links oxidized phosphatidylcholines and coronary arteritis in	Cardiovasc Res.	doi: 10.1093/cvr/cvz305		2019
Masuda H, Kobayashi T, Hachiya A, Nakashima Y, Shimizu H, Nozawa T, Ogihara Y, Ito S, Takatsuki S, Katsumata N, Suzuki Y, Takenaka S,	Infliximab for the Treatment of Refractory Kawasaki Disease: Nationwide Survey in Japan	J Pediatr	195	115-120	2018
Oharaseki T, Yokouchi Y, Enomoto Y, Sato W, Ishibashi K, Miura N, Ohno N, Takahashi K.	Recognition of alpha-mannan by dectin 2 is essential for onset of Kawasaki disease-like murine vasculitis	Mod Rheumatol	29	1月8日	2019
Hamada H, Suzuki H, Onouchi Y, et al	Efficacy of primary treatment with immunoglobulin plus ciclosporin for prevention of coronary artery abnormalities in patients with Kawasaki disease predicted to be at increased risk of non-response to intravenous	Lancet	16:393	1128-1137	2019
Yokouchi Y, Oharaseki T, Enomoto Y, Sato W, Imanaka YK, Takahashi K	Expression of tenascin C in cardiovascular lesions of Kawasaki	Cardiovasc Pathol.	38	25-30	2019

Kitano N, Suzuki H, Takeuchi T.	Patient Age and the Seasonal Pattern of Onset of Kawasaki's	N Engl J Med.	378	2048-2049	2018
Takahashi K, Oharaseki T, Yokouchi Y.	Histopathological aspects of cardiovascular lesions	Int J Rheum Dis	21	31-35	2018
Miyamae T, Takei S, Itoh Y, Yamanaka H.	Survey of attitudes of non-pediatric rheumatologists among councilors of the Japan College of Rheumatology regarding transitional	Mod Rheumatol.	27	1047-1050	2017
Nakano N, Mori M, Umebayashi H, et al.	Characteristics and outcome of intractable vasculitis syndrome in children: Nationwide	Mod Rheumatol.	27		2017
Miyabe C, Miyabe Y, Komiya T, Shioya H, Miura NN, Takahashi K, et al.	sphingosine 1-phosphate receptor agonist ameliorates animal model	Inflamm Res	66	335-340	2017
宮前 多佳子.	小児リウマチ性疾患の移行支援の現状と課題は何か?	分子リウマチ治療	12	138-142	2019
服部元史:	小児腎移植患者の移行医療	日本小児腎不全学会雑誌	37	10月15日	2017
榎本泰典, 横内 幸, 大原 関利章, 佐藤若菜, 井上 有希, 亀田秀人, 桐林孝治.	胸腔鏡下肺生検にて早期診断された MPO-ANCA 陽性多発血管炎性肉芽腫症の 1	診断病理	63	94-102	2019
Takeshita M, Suzuki K, Kondo Y, Morita R, Okuzono Y, Koga K, Kassai Y, Gamo K, Takiguchi M, Kurisu R, Mototani H.	Multi-dimensional analysis identified rheumatoid arthritis-driving pathway in human T cell.	Ann Rheum Dis.	78(10)	1346-1356	2019
Yajima N, Tsujimoto Y, Fukuma S, Sada KE, Shimizu S, Niihata K, Takahashi R, Asano Y, Azuma T, Kameda H, Kuwana M, Kohsaka H, Sugiura-Ogasawara M, Suzuki K,	The development of quality indicators for systemic lupus erythematosus using electronic health data: A modified RAND appropriateness method.	Mod Rheumatol.	26	1月7日	2019

Matsumoto K, Suzuki K, Yoshimoto K, Seki N, Tsujimoto H, Chiba K, Takeuchi T.	Significant association between clinical andomizedtic and andom-phenotypes in patients	Rheumatology (Oxford)	59(3)	545-553	2020
Tokuhira M, Saito S, Suzuki K, Higashi M, Momose S, Shimizu T, Mori T, Kimura Y, Amano K,	Clinicopathological andomi of clinical methotrexate-related lymphoproliferative	Leuk Lymphoma.	5	1月8日	2019
Akiyama M, Suzuki K, Kaneko Y, Takeuchi T.	IgG4-Related Disease: A Growing Appreciation of Follicular Helper T Cell Expansion.	Clin Transl Gastroenterol.	10(9)	e00076	2019
Takeshita M, Suzuki K, Kaneda Y, Yamane H, Ikeura K, Sato H, Kato S, Tsunoda K, Arase H, Takeuchi T.	Antigen-driven selection of antibodies against SSA, SSB and the centromere 'complex', including a novel antigen, MIS12 complex.	Ann Rheum Dis.	79(1)	150-158.	2020
Matsumoto K, Suzuki K, Yoshimoto K, Seki N, Tsujimoto H, Chiba K, Takeuchi T.	Significant association between clinical andomizedtic and changes in peripheral andom-	Arthritis Res Ther.	21(1)	304	2019
Harigai M, Winthrop K, Takeuchi T, Hsieh TY, Chen YM, Smolen JS,	Evaluation of hepatitis B virus	RMD Open.	6(1)	e001095	2020
Walls C, Wu WS, Dickson C, Liao R, Genovese MC.	in clinical trials of baricitinib in				

<p>Smolen JS, Landewé RBM, Bijlsma JWJ, Burmester GR, Dougados M, Kerschbaumer A, McInnes IB, Sepriano A, van Vollenhoven RF, de Wit M, Aletaha D, Aringer M, Askling J, Balsa A, Boers M, den Broeder AA, Buch MH, Buttgereit F, Caporali R, Cardiel MH, De Cock D, Codreanu C, Cutolo M, Edwards CJ, van Eijk-Hustings Y, Emery P, Finckh A, Gossec L, Gottenberg JE, Hetland ML, Huizinga TWJ, Koloumas M, Li Z, Mariette X, Müller-Ladner U, Mysler EF, da Silva JAP, Poór G, Pope JE, Rubbert-Roth A, Ruysse-Witrand A, Saag KG, Strangfeld A, Takeuchi T, Voshaar M, Westhovens R, van der Heijde D.</p>	<p>EULAR recommendations for the management of rheumatoid arthritis with synthetic and biological disease-modifying antirheumatic drugs: 2019 update</p>	<p>Ann Rheum Dis.</p>		<p>Pii: annrheumdis-2019-216655.</p>	<p>2020</p>
<p>Takeuchi T, Tanaka Y, Tanaka S, Kawakami A, Iwasaki M, Katayama K, Rokuda M, Izutsu H, Ushijima S, Kaneko Y, Shiomi T, Yamada E, van der Heijde D.</p>	<p>Efficacy and safety of peficitinib (ASP015K) in patients with rheumatoid arthritis and an inadequate response to methotrexate: results of a phase III randomized, double-blind, placebo-controlled trial (RAJ4) in Japan.</p>	<p>Ann Rheum Dis.</p>	<p>78(10)</p>	<p>1305-1319.</p>	<p>2020</p>

Genovese MC, Kalunian K, Gottenberg JE, Mozaffarian N, Bartok B, Matzkies F, Gao J, Guo Y, Tasset C, Sundy JS, de Vlam K, Walker D, Takeuchi T	Effect of Filgotinib vs Placebo on Clinical Response in Patients With Moderate to Severe Rheumatoid Arthritis Refractory to Disease-Modifying Antirheumatic Drug Therapy: The FINCH 2 Randomized Clinical Trial.	JAMA.	322(4)	315-325.	2019
Nakazawa M, Suzuki K, Yasuoka H, Yamaoka K, Takeuchi T.	Successful rituximab treatment of granulomatosis with polyangiitis with	Inflamm Regen.	38	20	2018
Murata O, Izumi K, Kaneko Y, Yasuoka H, Suzuki K, Matsubara s, Yamaoka K,	Microscopic polyangiitis diagnosed by muscle specimen: a case report	Modern Rheumatology Case Reports	2, 2	181-184	2018
渡部芳子	「高安動脈炎」	日本血管外科学会雑誌	26	25-31	2017
渡部芳子、種本和雄	II. 大型血管炎 4. バージャー病 (3) 診断、(4)	血管炎 (第2版) -基礎と臨床のク	76 (6)	146-155	2018
渡部芳子、種本和雄	バージャー病 [Buerger's disease]	CareNet 希少疾病ライブラリ	http://www.carenet.com/report/library/general/rare/index.htm		2018
遠藤由佳梨、田村直人	多発血管炎性肉芽腫症	日本臨床 動脈・静脈の疾患(下) -最新の診断・治	75	973-977	2017
安倍能之、田村直人	顕微鏡的多発血管炎	日本臨床 動脈・静脈の疾患(下) -最新の診断・治	75	968-972	2017
安倍能之、田村直人	中小血管炎の予後	リウマチ科	58(5)	537-542	2017
Abe Y, Tada K, Yamaji K, Takasaki Y, Tamura N	Association of five-factor score with the mortality in Japanese patients with	Mod Rheumatol	28(2)	308-312	2018

Nakano F, Ueno Y, Suda A, Takanashi M, Yamashita A, Abe Y, Kon T, Miyamoto N, Yamashiro K, Tanaka R,	Fatal ischemic stroke caused by cerebral small arteritis in a patient with giant cell	J Neurol Sci	15	22-24	2018
Matsushita M, Kobayashi S, Tada K, Hayashi E, Yamaji K, Amano A, Tamura	A case of ankylosing spondylitis with concurrent Takayasu	J Int Med Res.	46(6)	2486-2494	2018
田村直人	小型血管炎 多発血管炎性肉芽腫症 診断	日本臨床	76	249-254	2018
田村直人	小型血管炎 多発血管炎性肉芽腫症 治療	日本臨床	76	255-260	2018
水野貴文、波田野琢、佐々木芙蓉悠子、王子悠、仲野総一郎、田村直人、服部信孝	症例報告 Anti-Neutrophil Cytoplasmic Antibody 関連血管炎性中耳炎により Garcin 症候群	神経治療学	35(1)	27-32	2018
田村直人	ANCA 関連血管炎の近年の疾患概念と分類	ENTONI	217	9月16日	2018
Endo Y, Abe Y, Kawano S, Ando T, Sakamoto K, Tamura N	The association between absence of abdominal pain and mortality in lower intestinal perforation in patients	BioMed Research International			2019
安倍能之、田村直人	血管炎症候群の update 結節性多発動脈炎 ADA deficiency に関する最新	リウマチ科	61(6)	530-536	2019
田村直人	全身性疾患と腎 update (第1章) 膠原病、血管炎、自己免疫疾患 多発血管炎性肉芽腫症、リウマチ専門	腎と透析	86	80-83	2019
Abe Y, Fujibayashi K, Nishizaki Y, Yanagisawa N, Nojiri S, Nakano S, Tada K, Yamaji K, Tamura N	Conventional-dose versus half-dose sulfamethoxazole-trimethoprim for the prophylaxis of pneumocystis pneumonia in patients with	Acta Med Okayama	73(1)	85-89	2019

Abe Y, Yamaji K, Endo Y, Kusaoi M, Nakano S, Yang KS, Tada K, Tsuda H, Tamura N	Plasma exchange therapy to reduce mortality in japanese patients with diffuse alveolar	Ther Apher Dial	24(2)	208-214	2019
Kawamoto T, Ogasawara M, Nakano S, Matsuki Muramoto Y, Matsushita M, Yamanaka K, Yamaji K,	Diagnosis of giant cell arteritis by head-contrast three-dimensional computed	J Med Case Rep	13(1)	285	2019
Abe Y, Harada M, Tada K, Yamaji K, Tamura N	Elevated cerebrospinal fluid levels of total protein in patients with secondary central nervous system	Mod Rheumatol	24	1月6日	2019
土屋尚之	多発血管炎性肉芽腫症一疫学・遺伝疫学	日本臨床	76(Suppl. 6)	238-244	2018
Harigai M, Tsutsumino M, Takada H, Nagasaka K.	Molecular targeted therapies for microscopic polyangiitis and granulomatosis with	Korean J Intern Med.	34	492	2019
Kawasaki A, Yamashita K, Nagasaka K, et al.	Association of ETS1 polymorphism with granulomatosis with polyangiitis and proteinase 3-anti-neutrophil cytoplasmic	J Hum Genet	63	55	2018
Nakaoka Y, Isobe M, Tanaka Y, Ishii T, Ooka S, Niuro H, Tamura N, Banno S, Yoshifuji H, Sakata Y, Kawakami A, Atsumi T, Furuta S, Kohsaka H, Suzuki K, Hara R, Maejima Y, Tsukamoto	Long-term efficacy and safety of tocilizumab in refractory Takayasu arteritis: final results of the randomised controlled phase 3 TAKT study.	Rheumatology (Oxford).	pii: kez630. doi:10.1093/rheumatology/kez630. [Epub ahead of print]	1月8日	2020年

中岡良和.	血管炎性高血圧	日本臨牀 領域別症候群シリーズ No. 8 循環器症候群 (第3版)	IV	69-75	2020年
Park HS, Kim HZ, Park JS, Lee J, Lee SP, Kim H, Ahn CW, Nakaoka Y, Koh GY, Kang S.	Beta Cell-Derived Angiotensin II Regulates Insulin Secretion and Glucose Homeostasis by	Diabetes	68 (4)	774-786	2019年
中岡良和.	血管炎症候群.	日本医師会雑誌	148 (特別号 (2))	S147-S150	2019年
中岡良和.	肺循環の動的恒常性とその破綻(肺動脈性高血圧症の)	実験医学 (増刊)	37 (7)	1062-1069	2019年
中岡良和.	高安動脈炎と巨細胞性動脈炎	日本臨牀	77 (3)	522-530	2019年
中岡良和.	心筋-内皮細胞間クロストークによる心臓の発生・恒常性維持の制御機構 - Neuregulin-1/ErbB シグナル	実験医学	37 (5)	751-758	2019年
Terao C, Yoshifuji H, Matsumura T, Naruse TK, Ishii T, Nakaoka Y, et al.	Genetic determinants and an epistasis of LILRA3 and HLA-B*52 in Takayasu arteritis.	Proc Natl Acad Sci U S A.	115(51)	13045-13050	2018年
Kim KH, Nakaoka Y, Augustin HG, Koh GY.	Myocardial Angiotensin II Controls Atrial Chamber Morphogenesis by Spatiotemporal	Cell Reports	23	2455-2466	2018年
Nakaoka Y.	Response to: 'Aortic ulceration in a tocilizumab-treated patient with Takayasu	Ann Rheum Dis.		annrheumdis-2018-214239; DOI:	2018年
Nakaoka Y.	Response to: 'Efficacy and safety of tocilizumab in patients with refractory Takayasu	Ann Rheum Dis.		pii: annrheumdis-2017-212871.	2018年

Nakaoka Y, Isobe M, Takei S, Tanaka Y, Ishii T, Yokota S, Nomura A, Yoshida S, Nishimoto N.	Efficacy and safety of tocilizumab in patients with refractory Takayasu arteritis: results from a randomised, double-blind, placebo-	Ann Rheum Dis.	77(3)	348-354	2018年
中岡良和.	高安動脈炎の治療 (TAKT 試験結果を含めて)	日本臨牀	76, Suppl 6	112-119	2018年
中岡良和.	心不全の分子機序、炎症、サイト起案	日本臨牀	76, Suppl 9	162-168	2018年
中岡良和.	肺高血圧症と炎症	別冊 BIO Clinica 慢性炎症と疾患 「心臓と血管の慢性炎症」	7(1)	49-53	2018年
中岡良和.	大型血管炎の治療ガイドライン (高安動脈炎・巨細胞	炎症と免疫	26(1)	25-32	2018年
中岡良和.	高安動脈炎	日本医師会雑誌. 生涯教育シリーズ (92) 脳血管障害診療のエッセンス.	S146(1)	S218-S220	2017年
中山健夫	医療現場におけるヘルスマニケーション: 共有意思決定 (Shared decision making) とは何か?	循環 plus	17(9)	10月12日	2017
中山健夫	診療ガイドラインの今・これから	東京女子医科大学雑誌	88(Extra1)	E2-E9	2018
上田佳代、五十嵐稔子、中山健夫	根拠に基づく医療 (EBM) や診療ガイドラインとの上手な付き合い方	助産雑誌	72(12)	916-922	2018
中山健夫	エビデンスに基づくリスク・ベネフィットのコミュニケーション: SDM (共有意思決定に向けて)	薬学雑誌	138(3)	331-334	2018
中山健夫	診療ガイドラインと Shared Decision Making.	あとととき	6	16-19	2020

中山健夫	診療ガイドラインとは何か：EBM、診療ガイドラインの歴史と定義、未来展望。	医学のあゆみ	272(6)	556-560	2020
Chie Miyabe, Yoshishige Miyabe, Takaki Komiya, Hiroki Shioya, Noriko N. Miura, Kei Takahashi, Naohito Ohno, Ryoji Tsuboi, Andrew D. Luster, Shinichi Kawai, Nobuyuki Miyasaka, Toshihiro Nanki	A sphingosine 1-phosphate receptor agonist ameliorates animal model of vasculitis.	Inflamm. Res.	66	335-340	2017
南木敏宏	リウマチ・膠原病。高安動脈炎、巨細胞性動脈炎	最新医学別冊、診断と治療のABC139		199-206	2018
Chie Miyabe, Yoshishige Miyabe, Jun Nagai, Noriko N. Miura, Naohito Ohno, Jerold Chun, Ryoji Tsuboi, Hiroshi Ueda, Masayuki Miyasaka, Nobuyuki Miyasaka, Toshihiro Nanki.	Abrogation of lysophosphatidic acid receptor 1 ameliorates murine vasculitis.	Arthritis Res. Ther.	21	191	2019
佐藤洋志、南木敏宏	血管炎症候群における分子標的薬の使い方。	臨床呼吸	3	e00074	2019
岸部 幹、原渕保明	特集：今、話題になっていることー耳鼻咽喉科編 新しい疾患の提唱 -ANCA 関連血管炎性中耳炎 (OMAAV)	日本医事新報	4846	36-39	2017
岸部 幹、原渕保明	各科臨床のトピックス ANCA 関連血管炎性中耳炎 (OMAAV)	日医雑誌	146	274-275	2017
岸部 幹、原渕保明	特集：中耳・内耳疾患を見逃さない！ ANCA 関連血管炎性中耳炎 (OMAAV)	ENTONI	208	24-31	2017

岸部 幹、林 達哉	特集：知っておきたい難治性副鼻腔疾患の診療 多発血管炎性肉芽腫症	耳喉頭頸	89	998-1007	2017
岸部 幹	特集：診断に苦慮した耳鼻咽喉科疾患-私が経験した症例を中心に- 鼻中隔穿孔、鞍鼻	ENTONI	205	85-92	2017
岸部 幹	ANCA 関連血管炎性中耳炎 (OMAAV) ANCA 関連血管炎性中耳炎 (OMAAV)	リウマチ科	58	224-231	2017
Harabuchi Y, Kishibe K, Tateyama K, Morita Y, Yoshida N, Kunimoto Y, Matsui T, Sakaguchi H, Okada M, Watanabe T, Inagaki A, Kobayashi S, Iino Y, Murakami S, Takahashi H, Tono T	Clinical features and treatment outcomes of otitis media with antineutrophil cytoplasmic antibody (ANCA)-associated vasculitis (OMAAV): A retrospective analysis of 235 patients from a nationwide survey in Japan	Mod Rheumatol.	27	87-94	2017
岸部幹、原渕保明	血管炎症候群の新治療ガイドライン	炎症と免疫	26	41-44	2017
岸部幹	わかりやすい ANCA 関連血管炎性中耳炎 (OMAAV) - 早期診断と治療-	ENTONI	217	24-30	2018
岸部幹、原渕保明	【わかりやすい感覚器疾患】 感覚器疾患のみかた	日本医師会雑誌	147	S148-149	2018
岸部幹、原渕保明	【血管炎(第2版)-基礎と臨床のクロストーク-】 わが国の血管炎診療ガイドラインの要点	日本臨床	76	51-57	2018
岸部幹	【血管炎(第2版)-基礎と臨床のクロストーク-】 小型血管炎	日本臨床	76	297-301	2018

岸部幹	みみ・はな・のど診断 できるだけは行ってほしい決 手の検査	ENTONI	223	145-154	2018
岸部 幹、原渕保明	ANCA 関連血管炎性中耳炎	臨床雑誌内科	124	1849-1852	2019
Mizushina Y, Karasawa T, Aizawa K, Kimura H, Watanabe S, Kamata R, Komada T, Mato N, Kasahara T, Koyama S, Bando M, Hagiwara K, Takahashi M	Inflammasome-Independent and Atypical Processing of IL-1 β Contributes to Acid Aspiration-Induced Acute Lung Injury.	J Immunol	203	203-236	2019
Kurosaki F, Takemura T, Bando M, Kuroki T, Numao T, Moriyama H, Hagiwara K.	Progressive plasterer's pneumoconiosis complicated by fibrotic interstitial pneumonia: a case report.	BMC Pulm Med	19	6	2019

<p>Homma S, Bando M, Azuma A, Sakamoto S, Sugino K, Ishii Y, Izumi S, Inase N, Inoue Y, Ebina M, Ogura T, Kishi K, Kishaba T, Kido T, Gemma A, Goto Y, Sasaki S, Johkoh T, Suda T, Takahashi K, Takahashi H, Taguchi Y, Date H, Taniguchi H, Nakayama T, Nishioka Y, Hasegawa Y, Hattori N, Fukuoka J, Miyamoto A, Mukae H, Yokoyama A, Yoshino I, Watanabe K; Ministry of Health, Labour and Welfare, the Study Group on Diffuse Pulmonary Disorders, Scientific Research/Research on Intractable Diseases, and Japanese Respiratory Society.</p>	<p>Japanese guideline for the treatment of idiopathic pulmonary fibrosis.</p>	<p>Respir Investig 56</p>	<p>268-291</p>	<p>2018</p>
<p>Kondoh Y, Taniguchi H, Kataoka K, Furukawa T, Ando M, Murotani K, Mishima M, Inoue Y, Ogura T, Bando M, Hagiwara K, Suda T, Chiba H, Takahashi H, Sugiyama Y, Homma S</p>	<p>Disease severity staging system for idiopathic pulmonary fibrosis in Japan</p>	<p>Respirology 22</p>	<p>1609-1614</p>	<p>2017</p>

Yasutake M, Yukawa N, Iwahashi Y, Fujimoto M, Tabata K, Matsumiya R, Tanaka K, and Fujii T.	Hypertrophic pachymeningitis and subdural haematoma in an otitis media with ANCA-associated vasculitis patient successfully treated with intravenous cyclophosphamide.	Mod Rheumatol Case Reports.	3	134-138	2019
Kameda H, Fujii T, Nakajima A, Koike R, Sagawa A, Kanbe K, Tomita T, Harigai M, Suzuki Y, and Japan College of Rheumatology subcommittee on the guideline for the use of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis.	Japan College of Rheumatology guideline for the use of methotrexate in patients with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol.	29	31-40	2019
Tanaka Y, Kameda H, Saito K, Kaneko Y, Tanaka E, Yasuda S, Tamura N, Fujio K, Fujii T, Kojima T, Anzai T, Hamada C, Fujino Y, Matsuda S, and Kohsaka H.	Effect of subcutaneous tocilizumab treatment on work/housework status in biologic-naïve rheumatoid arthritis patients using inverse probability of treatment weighting: FIRST ACT-SC study.	Arthritis Res Ther.	20	151	2018
藤井 隆夫	小型血管炎. ANCA 関連血管炎; 専門領域の視点から. 診療科による ANCA 関連血管炎治療に対する考え方の相違について	血管炎(第2版) - 基礎と臨床のクロストーカー. 日本臨床	76	371-376	2018

Watanabe-Imai K, Harigai M, Sada KE, Yamamura M, Fujii T, Dobashi H, Amano K, Ito S, Homma S, Kumagai S, Banno S, Arimura Y, Makino H, and For the Research Committee on Intractable Vasculitides, the Ministry of Health, Labor and Welfare of Japan	Clinical characteristics of and risk factors for serious infection in Japanese patients within six months of remission induction therapy for antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis registered in a nationwide, prospective, inception cohort study	Mod Rheumatol.	27	646-651	2017
Ishizaki J, Takemori A, Suemori K, Matsumoto T, Akita Y, Sada KE, Yuzawa Y, Amano K, Takasaki Y, Harigai M, Arimura Y, Makino H, Yasukawa M, Takemori N, Hasegawa H, and for the Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome and the Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan (Fujii T)	Targeted proteomics reveals promising biomarkers of disease activity and organ involvement in antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis	Arthritis Res Ther.	19	218	2017
1. Furuya K, Sakamoto S, Shimizu H, Sekiya M, Kinoshita A, Isshiki T, Sugino K, Matsumoto K, Homma S	Pirfenidone for acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis: A retrospective study.	Respiratory Medicine	126	126:93-99	2017

Koyama K, Sakamoto S, Isshiki T, Shimizu H, Kurosaki A, Homma S	The activities of daily living after an acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis.	Internal Medicine	56	56: 2837-2843	2017
Isshiki T, Akiba H, Nakayama M, Harada N, Okumura K, Homma S, Miyake S	Anti-TIM-3 treatment exacerbates pulmonary inflammation and fibrosis in mice.	Journal of immunology	199	199:3733-3737	2017
Furuya K, Sakamoto S, Takai Y, Sato N, Matsumoto K, Homma S	Acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonia after nonpulmonary surgery under general anesthesia: a retrospective study.	SARCOIDOSIS VASCULITIS AND DIFFUSE LUNG DISEASES	34	34:156-164	2017
Miyamoto A, Kurosaki A, Fujii T, Kishi K, Homma S	HRCT features of surgically resected invasive mucinous adenocarcinoma associated with interstitial pneumonia.	Respirology	22	22:735-743	2017
Kaburaki K, Isobe K, Kobayashi H, Yoshizawa T, Takai Y, Homma S	A feasibility study of bevacizumab and vinorelbine in patients with previously treated advanced non-squamous non-small-cell lung cancer.	Molecular and Clinical Oncology	6	6:510-514	2017
Sugino K, Kobayashi M, Nakamura Y, Gocho K, Ishida F, Isobe K, Shiraga N, Homma S	Xenon-enhanced dual-energy CT imaging in combined pulmonary fibrosis and emphysema.	PLOS ONE	12(1)	12:e0170289	2017

Ishizu A, Tomaru U, Masuda S, Sada K, Amano K, Harigai M, Kawaguchi Y, Arimura Y, Yamagata K, Ozaki S, Dobashi H, Homma S, Okada Y, Sugiyama H, Usui J, Tsuboi N, Matsuo S, Makino H and for the Research Committee of the Intractable Vasculitis Syndrome and the Research Committee of the Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan	Prediction of response to remission induction therapy by gene expression profiling of peripheral blood in Japanese patients with microscopic polyangiitis.	Arthritis Research & Therapy	0.87291666 7	19:117DOI 10.1186/s1 3075-017- 1328-7	2017
Urabe N, Sakamoto S, Sano G, Suzuki J, Hebisawa A, Nakamura Y, Koyama K, Ishii Y, Tateda K, Homma S	Usefulness of two aspergillus PCR assays and β -D-glucan testing of bronchoalveolar lavage fluid for diagnosis of chronic pulmonary aspergillosis.	J Clin Microbiol	55	55:1738- 1746	2017
Kaburaki K, Sugino K, Kobayashi H, Sekiya T, Takai Y, Shibuya K, Homma S	Miliary tuberculosis that developed after intravesical bacillus calmet-guerin therapy.	Inter Med	56	56:1563- 1567	2017
Sugino K, Nakamura Y, Sekiya M, Kobayashi H, Shibuya K, Homma S	Fatal diffuse alveolar haemorrhage mimicking acute exacerbation in idiopathic pulmonary fibrosis treated with nintedanib.	Respirol Case Rep	5	e00258	2017

Sugino K, Shimizu H, Nakamura Y, Isshiki T, Matsumoto K, Homma S	Clinico-radiological features and efficacy of anti-fibrotic agents in atypical idiopathic pulmonary fibrosis.	J Thorac Dis	10	10:899-908	2018
Sakamoto S, Shimizu H, Isshiki T, Sugino K, Kurosaki K, Homma S	Recombinant human soluble thrombomodulin for acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis A historically controlled study	Respiratory Investigation	56	56:136-143	2018
Kondoh Y, Taniguchi H, Kataoka K, Furukawa T, Shintani A, Fujisawa T, Suda T, Arita M, Baba T, Ichikado K, Inoue Y, Kishi K, Kishaba T, Nishiyama O, Ogura T, Tomii K, Homma S	Clinical spectrum and prognostic factors of possible UIP pattern on high-resolution CT in patients who underwent surgical lung biopsy.	PLOS ONE	13(3)	28;13(3):e0193608	2018
Isobe K, Kakimoto A, Mikami T, Kaburaki K, Kobayashi H, Yoshizawa T, Makino T, Otsuka H, Sano G, Sugino K, Sakamoto S, Takai Y, Tochigi N, Akira I, Homma S	PD-L1 mRNA Expression in EGFR-mutant Lung Adenocarcinoma	Oncology Reports	40	40:331-338	2018
Shimizu H, Sakamoto S, Isshiki T, Furuya K, Kurosaki K, Homma S	Association of serum high-mobility group box protein 1 level with outcomes of acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis and fibrosing nonspecific interstitial pneumonia.	PLOS ONE	13(5)	e0196558	2018

Sugino K, Kabuki T, Shibuya K, Homma S	Systemic scleroderma- related interstitial pneumonia associated with borderline pulmonary hypertension.	BMJ Case Rep	doi:aa36/b cr-2017- 221755	doi:aa36/b cr-2017- 221755	2018
Homma S, Bando M, Azuma A, Sakamoto S, Sugino K, Ishii Y, Izumi S, Inase N, Inoue Y, Ebina M, Ogura T, Kishi K, Kishaba T, Kido T, Gemma A, Goto Y, Sasaki S, Johkoh T, Suda T, Takahashi K, Takahashi H, Taguchi Y, Date H, Taniguchi H, Nakayama T, Nishioka Y, Hasegawa Y, Hattori N, Fukuoka J, Miyamoto A, Mukae H, Yokoyama A, Yoshino I, Watanabe K, on behalf of the Ministry of Health, Labour and Welfare, the Study Group on Diffuse Pulmonary Disorders, Scientific Research/Research on Intractable Diseases, and Japanese Respiratory Society	Japanese guideline for the treatment of idiopathic pulmonary fibrosis.	Respiratory investigation	56	56:268-291	2018

Igarashi A, Iwanami Y, Sugino K, Gocho K, Homma S, Ebihara S	Using 6-Min Walk Distance Expressed as a Percentage of Reference to Evaluate the Effect of Pulmonary Rehabilitation in Elderly Patients With Interstitial Lung Disease.	J Cardiopulm Rehabil Prev	38	38:342-347	2018
Miyoshi S, Isobe K, Shimizu H, Sunakawa M, Suzuki A, Sugino K, Shiraga N, Sakamoto S, Takai Y, Iyoda A, Homma S	The Utility of Virtual Bronchoscopy Using a Computed Tomography Workstation for Conducting Conventional Bronchoscopy: A Retrospective Analysis of Clinical Practice.	Respiration	DOI: 10.1159/00 0492074	DOI: 10.1159/00 0492074	2018
Yamagata K, Usui J, Nagata M, Sugiyama H, Sada K, Muso E, Harigai M, Amano K, Atsumi T, Fujimoto S, Yuzawa Y, Kobayashi M, Saito T, Ito T, Hirawa N, Homma S, Dobashi H, Tsuboi N, Ishizu A, Arimura Y, Makino H, Matsuo S, For the Research Committee of Intractable Renal Disease and the Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan	Histopathological classification of anti- neutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis in a nationwide Japanese prospective 2-year follow-up cohort study	Clin Exp Nephrol	doi.org/10 .1007/s101 57-018- 1656-1	/doi.org/1 0.1007/s10 157-018- 1656-1	2018

Isobe K, Kaburaki K, Kobayashi H, Sano G, Sakamoto S, Takai Y, Tochigi N, Iyoda A, Homma S	New risk scoring system for predicting acute exacerbation of interstitial pneumonia after chemotherapy for lung cancer associated with interstitial pneumonia.	Lung Cancer	125	125:253-257	2018
Koyama K, Goto H, Morizumi S, Kagawa K, Nishimura H, Sato S, Kawano H, Toyoda Y, Ogawa H, Homma S, Nishioka Y	The Tyrosine Kinase Inhibitor TAS-115 Attenuates Bleomycin-Induced Lung Fibrosis in Mice.	Am J Respir Cell Mol Biol.	doi: 10.1165/rcmb.2018-00980C.	60:478-487	2019
Kurosawa T, Miyoshi S, Yamazaki S, Nishina T, Mikami T, Oikawa A, Homma S, Nakano H	A murine model of acute lung injury identifies growth factors to promote tissue repair and their biomarkers.	Genes Cells	24	24:112-125	2019
Namba N, Kawasaki A, Sada K, Hirano F, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Shimada K, Hashimoto A, Matsui T, Nagasaka K, Sugihara T, Suzuki A, Yamagata K, Sumida T, Tohma S, Homma S, Ozaki S, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N, On behalf of Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS)	Association of MUC5B promoter polymorphism with interstitial lung disease in myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Mod Rheumatol	0:1-2	doi:10.1136/annrheumdis-2018-214263	2019

Homma S, Usui Y, Suzuki A, Ito T, Sakamoto S, Kurosaki A, Kurihara Y, Sada k, Hrigai M	Difference in chest HRCT findings in relation to ANCA subtypes in ANCA-associated vasculitis.	Rheumatol	58	58:ii37	2019
Fujisawa T, Mori K, Mikamo M, Ohno T, Kataoka K, Sugimoto C, Kitamura H, Enomoto N, Egashira R, Sumikawa H, Iwasawa T, Matsushita S, Sugiura H, Hashisako M, Tanaka T, Terasaki Y, Kunugi S, Kitani M, Okuda R, Horiike Y, Enomoto Y, Yasui H, Hozumi H, Suzuki Y, Nakamura Y, Fukuoka J, Johkoh T, Kondoh Y, Ogura T, Inoue Y, Hasegawa Y, Ninase, Homma S and Suda T	Nationwide cloud-based integrated database of idiopathic interstitial pneumonias for multidisciplinary discussion.	Eur Respir J	53	53:1802243	2019
Isshiki T, Sakamoto S and Homma S	Therapeutic Role of Recombinant Human Soluble Thrombomodulin for Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis.	Medicina	55, 172	172:doi:10.3390/medicina55050172	2019
Sugino K, Otsuka H, Matsumoto Y, Nakamura Y, Matsumoto K, Azuma Y, Makino T, Iyoda A, Shibuya K, Homma S	The role of video-assisted thoracoscopic surgery in the diagnosis of interstitial lung disease .	SARCOIDOSIS VASCULITIS AND DIFFUSE LUNG DISEASES 2019	36 (2)	36:148-156	2019

Furukawa M, Ota H, Nakamura Y, Nihonyanagi Y, Tochigi N, Homma S	Neurofibromatosis type 1 associated malignant peripheral nerve sheath tumor carcinomatous pleurisy: an autopsy case.	Respirology Case Reports	7	7: e00463	2019
Watanabe K, Hishii H, Kiyomi F, Terasaki Y, Hebisawa A, Kawabata Y, Johkoh T, Sakai F, Kondoh Y, Inoue Y, Azuma A, Suda T, Ogura T, Inase N, Homma S, the Study Group on Diffuse Pulmonary Disorders, Scientific Research/Research on Intractable Diseases in Japan	Criteria for the diagnosis of idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis A proposal.	Respiratory Investigation	57	57:312-320	2019
Isobe K, Issiki T, Sakamoto S, Sano G, Takai Y, Tochigi N, Homma S	Clinical importance of Bcl-2-like 11 deletion polymorphism in idiopathic pulmonary fibrosis.	J Thorac Dis		http://dx. doi.org/10 .21037/jtd .2019.07.2 5	2019
Sakamoto S, Shimizu H, Isshiki T, Kurosaki A, Homma S	Pharmacological treatment of acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis: a retrospective study of 88 patients.	SARCOIDOSIS VASCULITIS AND DIFFUSE LUNG DISEASES	36 (3)	36:176-184	2019
Matsuyama H, Isshiki T, Chiba A, Yamaguchi T, Murayama G, Akasaka Y, Eishi Y, Sakamoto S, Homma S, Miyake S	Activation of mucosal- associated invariant T cells in the lungs of sarcoidosis patients.	Scientific Reports	9:13181	https://do i.org/10.1 038/s41598 -019- 49903-6	2019

Keicho N, Hijikata M, Morimoto K, Homma S, Taguchi Y, Azuma A, Kudoh S	Primary ciliary dyskinesia caused by a large homozygous deletion including exons 1-4 of DRC1 in Japanese patients with recurrentsinopulmonary infection.	Mol Genet Genomic Med	0	DOI: 10.1002/e1033	2019
Nakano Y, Isobe K, Kobayashi H, Kaburaki K, Isshiki T, Sakamoto S, Takai Y, Naobumi Tochigi, Mikami T, Iyoda A, Homma S and Kishi K	Clinical importance of long non - coding RNA LINC00460 expression in EGFR - mutant lung adenocarcinoma.	INTERNATIONAL JOURNAL OF ONCOLOGY		DOI: 10.3892/ijco.2019.4919	2019
Kondoh Y, Azuma A, Inoue Y, Ogura T, Sakamoto S, Tsushima K, Johkoh T, Fujimoto K, Ichikado K, Matsuzawa Y, Saito T, Kishi K, Tomii K, Sakamoto N, Aoshima M, Araya J, Izumi S, Arita M, Abe M, Yamauchi H, Shindoh J, Suda T, Okamoto M, Ebina M, Yamada Y, Tohda Y, Kawamura T, Taguchi Y, Ishii H, Hashimoto N, Abe30 S, Taniguchi H, Tagawa J, Bessho K, Yamamori N, Homma S	Thrombomodulin alfa for Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis: A Randomized, Double-blind, Placebo-controlled Trial.	AJRCCM		in Press 2020 as 10.1164/rccm.201909-18180C.	2019

Natsuko Tamura, Yasuhiro Maejima, Takayoshi Matsumura, Rick B Vega, Eisuke Amiya, Yusuke Ito, Yuka Shiheido-Watanabe, Takashi Ashikaga, Issei Komuro, Daniel P Kelly, Kenzo Hirao, Mitsuaki Isobe.	Single-Nucleotide Polymorphism of the MLX Gene Is Associated with Takayasu Arteritis	Circ Genom Precis Med.	11 (10)	e002296	2018
前嶋康浩	血管炎の臨床 UPDATE 「高安動脈炎」	医学のあゆみ	263 (6)	485-489	2017
前嶋康浩 磯部光章	高安動脈炎 【VII. 血管炎 大型血管炎】	日本臨牀	75 巻増刊号 5 動脈・静脈の疾患 (下) (通巻第 1124 号)	946-951	2017
前嶋康浩	【指定難病ペディア 2019】 個別の指定難病 免疫系 高安動脈炎 [指定難病 40]	日本医師会雑誌	148 (特別号 (2))	S160-S161	2019
前嶋康浩	大動脈疾患 高安動脈炎	日本臨牀	領域別症候群シリーズ No. 8 循環器症候群 (第 3 版)	371-37	2020
田村夏子 前嶋康浩	高安動脈炎と MLX 遺伝子変異	リウマチ科	63 (2)	196-201	2020
Kobayashi K., Watanabe N., Oka T., Tomita H., Suzui N., Oumi Y., Hara A., Miyazaki T.	A case of lung adenocarcinoma complicated by pulmonary talcosis occurring in a patient employed in the confectionery industry.	Pathol. Int.	69 (4)	229-234	2019

Tezuka Y, Fukuda M, Watanabe S, Nakano T, Okamoto K, Kuzume K, Yano Y, Eguchi M, Ishimae M, Ishii E, Miyazaki T.	Histological characterisation of visceral changes in a patient with type 2 Gaucher disease treated with enzyme replacement therapy.	Blood Cells Mol Dis.	68	194-199	2018
Morishima T, Mizutani Y, Takahashi T, Miyazaki T, Seishima M.	Histiocytic necrotizing lymphadenitis (Kikuchi's disease) with vasculitis.	J. Dermatol.	45 (5)	e98-e99	2018
Kobayashi K, Hisamatsu K, Suzui N, Hara A, Tomita H, Miyazaki T.	A Review of HPV-Related Head and Neck Cancer.	J Clin Med.	7 (9)	E241	2018
Hattori Y, Miyazaki T, Seishima M.	Subcutaneous Nodule at the Sacral Region as a Rare Skin Manifestation of Dialysis-Related Amyloidosis.	Ther Apher Dial.	22 (6)	674-676	2018
Klemis V., Ghura H., Federico G., Wurfel C., Bentmann A., Gretz N., Miyazaki T., Grone H. J., Nakchbandi I. A.	Circulating fibronectin contributes to mesangial expansion in a murine model of type 1 diabetes.	Kidney Int	91 (6)	1374-1385	2017
Matsuyama K, Mizutani Y, Takahashi T, Shu E, Kanoh H, Miyazaki T, Seishima M.	Enhanced dendritic cells and regulatory T cells in the dermis of porokeratosis.	Arch Dermatol Res.	309 (9)	749-756	2017
Kawashima M, Usui T, Okada H, Mori I, Yamauchi M, Ikeda T, Kajita K, Kito Y, Miyazaki T, Fujioka K, Ishizuka T, Morita H.	TAFRO syndrome: 2 cases and review of the literature.	Modern rheumatology	27 (6)	1093-1097	2017

Tamura N, Kawaguchi T, Yoshifuji H, et al.	Genetic determinants and an epistasis of LILRA3 and HLA-B*52 in Takayasu arteritis.	Proc Natl Acad Sci U S A	115(51)	13045-50	2018
Yoshifuji H	Pathophysiology of large vessel vasculitis and utility of interleukin-6 inhibition therapy.	Mod Rheumatol	29(2)	287-93	2019
Isoke M, Amano K, Yoshifuji H, et al.	JCS Joint Working Group. JCS 2017 Guideline on Management of Vasculitis Syndrome - Digest Version.	Circ J	24;84(2)	299-35 299-359 9	2020
Yamagata K, Usui J, Nagata M, Sugiyama H, Sada KE, Muso E, Harigai M, Amano K, Atsumi T, Fujimoto S, Yuzawa Y, Kobayashi M, Saito T, Ito T, Hirawa N, Homma S, Dobashi H, Tsuboi N, Ishizu A, Arimura Y, Makino H, Matsuo S; Research Committee of Intractable Renal Disease and the Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan.	Histopathological classification of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis in a nationwide Japanese prospective 2-year follow-up cohort study.	Clin Exp Nephrol	23(3)	387-394	2019

Tran TTT, Hara A, Kitagawa K, Kitajima S, Toyama T, Iwata Y, Sakai N, Shimizu M, Kaneko S, Furuichi K, Wada T.	Relationship between autoantibodies to erythropoietin receptor and renal outcome in patients with anti- neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis	Biomarkers	25 (2)	194-200	2020
--	--	------------	--------	---------	------